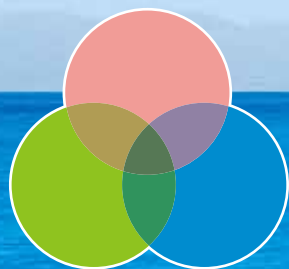




三遠南信 サミット2012 in 東三河

三遠南信の歩みと未来
～県境連携の先駆けとしての地域創造～



資料集

第20回
三遠南信サミット
2012 in 東三河

平成24年10月2日(火)
会場／ホテル日航豊橋

目次

1 三遠南信の歩み

三遠南信の歩み	1
---------	---

2 分科会

(1) 「道」分科会

① 「三遠南信自動車道の整備状況と効果」	14
② 「翔け「三河港」」	21
③ 政策の基本方針1「中部圏の中核となる地域基盤の形成」重点プロジェクト	30

(2) 「技」分科会

① 「三遠南信発！イノベーション創出を目指した産学官・地域間連携による取組」	34
② 「三遠南信地域社会雇用創造事業の取り組みについて」	40
③ 政策の基本方針2「持続発展的な産業集積の形成」重点プロジェクト	46

(3) 「風土」分科会

① 「いなり寿司で豊川市をもりあげ隊の活動とB-1グランプリについて」	50
② 政策の基本方針3「塩の道エコミュージアムの形成」重点プロジェクト	57

(4) 「山・住」合同分科会

① 「農家民宿くんま遊楽亭あそびやの開業」	60
② 政策の基本方針4「中山間地域を活かす流域モデルの形成」重点プロジェクト	67
③ 政策の基本方針5「広域連携による安全・安心な地域の形成」重点プロジェクト	68

3 参考資料

(1) 三遠南信地域連携ビジョン概要版	69
(2) 三遠南信エリアマップ	76

三遠南信の歩み

三遠南信の歩み

三遠南信地域連携ビジョン推進会議 SENA

1

- 三遠南信地域の潜在力
- サミットへ至る道のり
- サミットの歴史
- 地域別の広域行政の現況
- 広域連携の成果
- 三遠南信の未来への歩み

2

三遠南信地域の潜在力



自然



産業



都道府県別の製造業出荷額

順位	都道府県	出荷額(億円)
1位	愛知県	3,821,082,554
2位	神奈川県	1,724,668,311
3位	静岡県	1,579,310,901
4位	大阪府	1,571,310,772
5位	兵庫県	1,418,378,346
6位	埼玉県	1,285,315,534
7位	千葉県	1,238,052,899
	三遠南信地域	1,201,143,042
8位	茨城県	1,084,575,404

都道府県別の農業産出額

順位	都道府県	産出額(億円)
1位	北海道	10,527
2位	鹿児島県	4,079
3位	千葉県	4,014
4位	茨城県	3,988
5位	宮崎県	3,211
6位	愛知県	3,108
	三遠南信地域	3,096
7位	熊本県	2,984

※H18生産農業所得統計より

H22工業統計表「市区町村編」データより作成

歴史と文化



花祭(東栄町)



荷物を運ぶ中馬

三遠南信地域は、豊川や天竜川の両河川の流域であり、河川を利用した水運が盛んでした。

また、太平洋沿岸で取れた塩は俵に詰められ、馬の背に乗せて内陸へ運ばれました。この地域には、「塩」という命の源を運んだ重要な道が今も残されています。

こうした「塩の道」等を通じて交流が活発に行われ、文化、経済、信仰など様々な分野で、行政の境界を越えた独自の生活文化圏を形成するようになりました。

塩の道が繋ぐ、三遠南信地域の絆

三遠南信サミットへ至る道のり

創成期

- ◆昭和26年
天竜・東三河地域が「国土総合開発法(S25)」
に基づく特定地域に指定
- ◆昭和27年
「天竜・東三河特定地域総合開発計画」の策定



【対象地域】

愛知県(豊橋市、豊川市、南・北設楽郡、八名郡、宝飯郡、渥美郡)
静岡県(浜松市、磐田市、磐田郡、浜名郡、引佐郡、周智郡)
長野県(飯田市、諏訪市、岡谷市、諏訪郡、上・下伊那郡)

5

三遠南信サミットへ至る道のり

- ◆昭和43年～昭和49年
「三遠南信高速道路建設構想(愛知・静岡・長野3県知事会議)」
「天竜奥三河国定公園」の指定に伴う開発計画のひとつとして、
「三遠南信高速道路建設構想」
- ◆昭和44年1月10日
「天竜奥三河国定公園」の指定
面積:25,723ha
- ◆昭和49年
「天竜奥三河地域総合調査報告」
第5回愛知・静岡・長野県知事会議
の合意に基づく調査



6

三遠南信サミットへ至る道のり

活動期

◆昭和60年

「三遠南信トライアングル構想(中部経済連合会)」

「三遠南信トライアングル都市圏形成プロジェクト」

三遠南信自動車道の建設促進
三河港の整備促進とハイテクエリアの形成
浜松地域テクノポリスの建設促進

4全総につながる重要な提言

◆昭和62年6月30日

第4次全国総合開発計画閣議決定

「国土を縦貫し、横断する路線の連携を図り、あるいは国土の主軸から離れた地域の一体化を図る三遠南信自動車道」と記載。

「南北の連携を強めるため、三遠南信自動車道等の具体化を図る」と記載
三遠南信自動車道が「高規格幹線道路網計画へ位置づけ」



7

三遠南信サミットへ至る道のり

◆平成3年12月

「三遠南信地域経済開発懇談会」の設立

浜松、飯田、豊橋の3商工会議所

◆平成3年 ~ [2か年]

「三遠南信地域整備計画」

(国土庁、農林水産省、林野庁、通商産業省、建設省の共同)

◆平成6年1月

「三遠南信地域整備連絡会議」の発足

平成6年2月10日

「三遠南信サミット&シンポジウム'94浜松」の開催

8

三遠南信サミットの歴史

サミット&シンポジウムから「三遠南信サミット」へ

サミット年表

回数	開催日	開催テーマ	開催地
1	H6.2.10	三遠南信地域に今、21世紀の風が吹く *「三遠南信サミット&シンポジウム」として開催	浜松市
2	H6.11.21	交流がつくる三遠南信の未来	豊橋市
3	H7.10.11	次代に向けて動く三遠南信 ～地域を変える交流の創出～	飯田市
4	H8.11.22	三遠南信地域の新たな連携と共生に向けて	浜松市
5	H9.11.17	三遠南信地域の新たな連携 ～循環型社会の構築と新たな活力の創造～	豊橋市
6	H10.10.8	三遠南信の新たなステージをめざして ～交流から参加と連携へ～	飯田市



第1回三遠南信サミット&シンポジウム

関連する出来事

- ◆平成8年7月
「三遠南信地域交流ネットワーク会議」の設立
- ◆平成9年6月
「三遠南信地域経済開発協議会」が発足

サミットでの議論に呼応して、連携の主体となる組織が設立

9

三遠南信サミットの歴史

「三遠南信サミット」の拡大・発展

回数	開催日	開催テーマ	開催地
7	H11.7.23	人が、物が、そして地域が動く *「三遠南信サミット」と名称変更	雄踏町
8	H12.7.26	絆、そして融合 ～三遠南信地域の明日をめざして～	豊橋市
9	H13.11.8	交流新世紀 ～三遠南信地域 ふるさとの共有～	飯田市
10	H14.7.24	快適空間・三遠南信 ～元気な観光・交流の新たな創造～	浜松市
11	H15.10.27	まるごとミュージアム・三遠南信 ～魅力再発見からもてなしのまちづくりへ～	豊橋市
12	H16.11.25	新たな歴史の扉を拓く ～三遠南信からの発信～	飯田市
13	H17.11.4	三遠南信・新たな時代の幕開け ～夢街道いよいよ実現へ～	浜松市

- ◆平成17年11月4日
第13回三遠南信サミット2005 in遠州

住民による議論の場として、初めて住民セッションが開催された。



三遠南信地域経済開発協議会内に「三遠南信自動車道早期開通規成同盟会」を設置。

地域の将来像の共有のため、三遠南信の今後の方向性を明確にした「三遠南信地域連携ビジョン」の策定が提案された。

多様な地域振興の担い手の参加 一体的ビジョンの必要性

10

三遠南信サミットの歴史

三遠南信地域連携ビジョンの合意へ

回数	開催日	開催テーマ	開催地
14	H18.10.23	三遠南信・圏域の創生をめざして ～つながる 広がる 躍動する～	豊橋市
15	H19.11.14	将来(あす)への展望 ～今、三遠南信地域の新たな協創のとき～	飯田市

関連する出来事

◆平成18(2006)年10月11日
「三遠南信地域連携ビジョン検討委員会」を設置。委員会は、市町村、商工会議所、商工会、大学、地域住民の代表で組織。国・県がオブザーバー。

◆平成19(2007)年11月14日
「第15回 三遠南信サミット2007in南信州」において、「三遠南信地域連携ビジョン」を合意。共同宣言(現在のサミット宣言)をした。



「三遠南信地域連携ビジョン」の承認(平成20年3月27日)

11

三遠南信地域連携ビジョン

—世界につながる日本の中央回廊—
三遠南信**250**万流域都市圏の創造



中部圏の中核となる地域基盤の形成



持続発展的な産業集積の形成



塩の道エコミュージアムの形成



中山間地域を活かす流域モデルの形成



広域連携による安全・安心な地域の形成

12

三遠南信サミットの歴史

三遠南信地域連携ビジョン策定以後

回数	開催日	開催テーマ	開催地
16	H21.2.10	三遠南信250万流域都市圏の創造に向けた挑戦	浜松市
17	H21.11.13	日本の県境連携モデルの構築 ～三遠南信地域連携ビジョンの実現に向けて～	豊橋市
18	H22.11.12	地域主権時代における県境地域連携モデルの推進 ～融合に向けた自発的な地域づくりの実践～	飯田市
19	H23.10.24	三遠南信流域都市圏構築への挑戦 ～融合、新たなステージへ～	浜松市
20	H24.10.2	第20回記念サミット 三遠南信の歩みと未来 ～県境連携の先駆けとしての地域創造～	豊橋市

関連する出来事

◆平成20年4月
三遠南信地域連携ビジョン推進会議の事務局を浜松市に設置。豊橋市と飯田市の職員を加え体制を強化。



◆平成24年9月
新・連携組織検討委員会開催

◆平成23年10月24日 サミット宣言より
「三遠南信地域連携ビジョン推進会議の後継となる新・連携組織は、現在と同様に地方公共団体と経済団体との官民連携の組織とし、今後の広域連合設置に向けては、専門委員会において検討を進めます。」

地域別の広域行政の現況

東三河地域

- ・東三河広域協議会が、東三河地域の課題解決に向けて広域連携の取り組みを進めている。
- ・東三河地域の県機関が一体となって東三河振興に取り組むネットワーク型の推進体制として、東三河県庁が位置づけられている。



遠州地域

- ・平成23年4月に設置された遠州広域行政推進会議において、東日本大震災以後の防災事業や自治体クラウドの共同研究を行うなど、協議・検討を行っている。

南信州地域

- ・南信州広域連合が、市町村事務の共同処理、基金果実を財源とした調査・研究事業などに取り組んでいる。
- ・飯田市と周辺町村が一对一の協定を締結し、定住自立圏形成への取り組みが進められている。



広域連携の成果

①三遠南信地域社会雇用創造事業 (内閣府事業)

1. 社会起業インキュベーション事業

社会的企業の創造・事業化を目指す方を募集。
起業研修講座の開催や起業アドバイザーの紹介などを支援。
起業した場合には、「起業支援金(上限220万円)」を提供。

2. 社会的企業人材創出・インターンシップ事業

社会的企業を支える人材の育成と就業の拡大を目指し、社会的企業分野に関心を持つ方々を研修生として募集。インターンシップ研修を実施。



②三遠南信地域における官民連携主体による地域づくり推進事業 (国土交通省委託事業)

SENAと高等教育機関、NPO法人等社会的企業との連携・協働により、「三遠南信地域連携ビジョン」を踏まえ、次世代社会基盤の創造にかかる人材の育成、起業支援の持続的地域戦略を構築する。

15

広域連携の成果

③三遠南信自動車道等の建設促進

○三遠南信自動車道
平成24年3月4日開通
鳳来峡IC－浜松いなさ北IC間

○新東名高速道路
平成24年4月14日開通
御殿場JCT－浜松いなさJCT間

提案活動の状況

- ①三遠南信道路建設促進期成同盟会
【構成】県、市町村
- ②三遠南信自動車道早期開通期成同盟会
【構成】商工会議所・商工会・11JA
- ③三遠南信、浜松三ヶ日・豊橋道路建設促進議員協議会
【構成】東三河、遠州及び南信州の市町村議会
- ④3市提言
・豊橋市長、飯田市長、浜松市長

④浜松・東三河ライフフォトニクスイノベーション 【地域イノベーション戦略推進地域】 H23.8.1採択

最先端の光・電子技術を基盤として、「輸送機器用次世代技術産業」「新農業」「健康医療産業」「光エネルギー産業」の新産業4分野の基幹産業化を図ることにより、より良いQOL(Quality of Life)を志向する安全・安心・快適で持続的に成長可能な社会を実現する。
(浜松・東三河地域)



16

広域連携の成果

⑤第6回ビジネスマッチングフェア inHamamatsu2012

- ・中小企業にビジネスマッチングの場を提供。
※ 遠州地域以外からも参加。
- ・平成24年7月24日～25日
- ・アクトシティ浜松 展示イベントホール

第6回ビジネスマッチングフェア
inHamamatsu2012



⑥第5回三遠南信（8信金）しんきんサミット

- ・平成24年9月15日（土）午前11時～午後4時
- ・会場：ホテル日航豊橋 ホリデー・ホール

- ★しんきん物産展～つなぐ元気 三遠南信の力～
- ★しんきんシンポジウム



飯田信用金庫
浜松信用金庫
磐田信用金庫
掛川信用金庫
遠州信用金庫
豊橋信用金庫
豊川信用金庫
蒲郡信用金庫

⑦浜松市消防ヘリコプターの広域運用

- ・平成22年5月運用開始（浜松市域内）
- ・災害救助や遠距離の救急搬送
- ・浜松市と隣接市が航空消防に関する応援協定を締結（平成22年7月施行）



17

広域連携の成果

⑧第18回三遠南信ふるさと歌舞伎交流湖西大会

- ・平成23年11月27日、湖西市民会館
- ・湖西歌舞伎保存会、浦川歌舞伎保存会、
豊橋素人歌舞伎保存会、大鹿歌舞伎保存会の共演



⑨三遠南信交流展

「ミュージアム・サミット ー美の競演ー」

- 平成21年10月10日～11月15日、豊橋市美術博物館
- 平成22年9月11日～10月11日、飯田市美術博物館
- 平成24年2月24日～3月25日、浜松市美術博物館
秋野不矩美術館

⑩峠の国盗り綱引き合戦

- ・浜松市水窪地区と飯田市南信濃地区の交流イベント
- ・場所：兵越峠



18

三遠南信の未来への歩み

各分科会での議論へ



県境連携を促進する地域基盤整備
の状況と展望



地域産業の持続的発展を目指した
新産業創造と人材の育成



ご当地グルメを通じた
三遠南信地域ファンづくり



中山間地域の生活環境向上に繋がる、
人・ものの交流促進



19

第20回記念サミット

三遠南信の歩みと未来

～県境連携の先駆けとしての地域創造～

20



分科会

資料

三遠南信自動車道の整備状況と効果

平成24年10月2日

国土交通省浜松河川国道事務所
所長 天野 邦彦

新東名高速道路・三遠南信自動車道の開通



()は仮称
※未完成のスマートIC名称は仮称

鳳来峡IC～浜松いなさJCT 交通量の変化 新東名前後

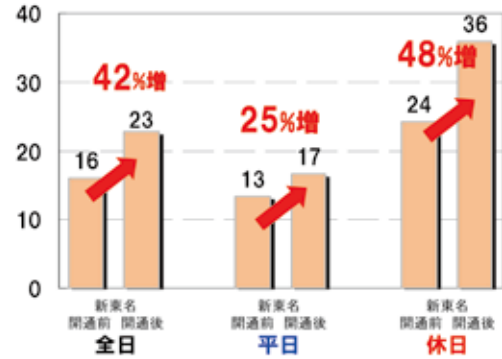
・三遠南信自動車道の交通量は、
全日**23**百台/日、平日**17**百台/日、休日**36**百台/日

■位置図



■三遠南信自動車道の交通量

(百台/日)



出典：国土交通省データ
 開通前：平成24年3月5日(月)～4月13日(金)
 開通後：平成24年4月15日(日)～7月13日(土)

2

鳳来峡IC～浜松いなさJCT開通後の整備効果 観光(南信州)

南信地域の観光交流の広域化をバックアップ

- 新東名開通直後、道の駅信州新野千石平の来訪者が約2.6倍に。
- 浜松・静岡方面からの利用者が約4割を占め、その約7割が三遠南信自動車道を利用。
- 今回の開通が南信地域の観光客の広域化に寄与。



■来訪者の居住地



観光交流施設
運営者の声
(信州新野千石平)

新東名とつながったことで、浜松だけでなく静岡ナンバーの自動車も増加しています。当方からも静岡市内のスーパーにて地域の特産品の紹介・販売を行っており、三遠南信自動車道、新東名の開通により、静岡市までの移動時間が1時間程度短縮したため、大変便利になりました。



■道の駅「信州新野千石平」入込客数の推移



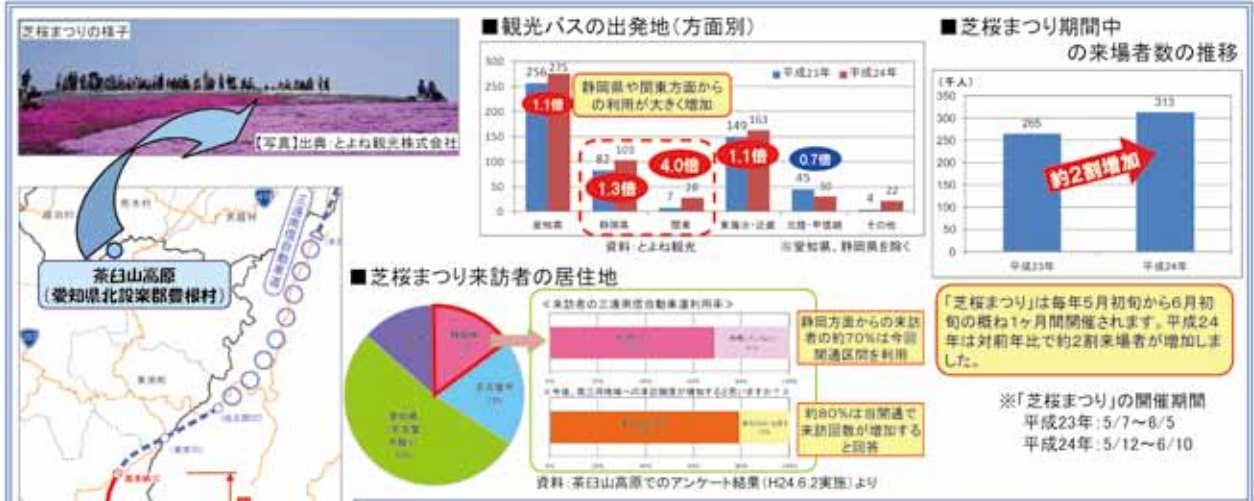
■三遠南信(鳳来峡～浜松いなさ北間)利用率



3

観光活性化に向けた地元の取り組みを支援

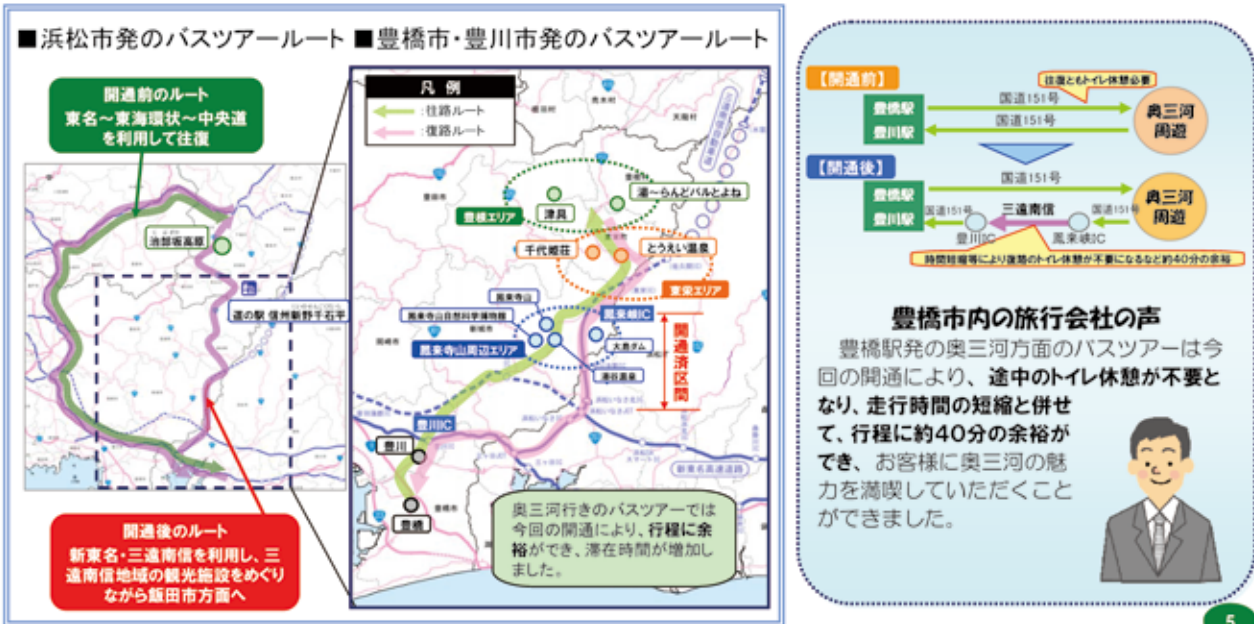
- 近年、地元では芝桜まつり(豊根村)といったイベントが開催されるなど、観光交流の活性化に取り組まれています。
- 今回の開通で静岡方面からの観光バスが大幅に増加するなど地元の観光活性化を支援。



観光バス運転手の声
 国道257号経由で来る予定だったが、新東名、三遠南信経由に変更し、所要時間が短縮され、便利になった。
 (出発地: 焼津、藤枝、島田方面)

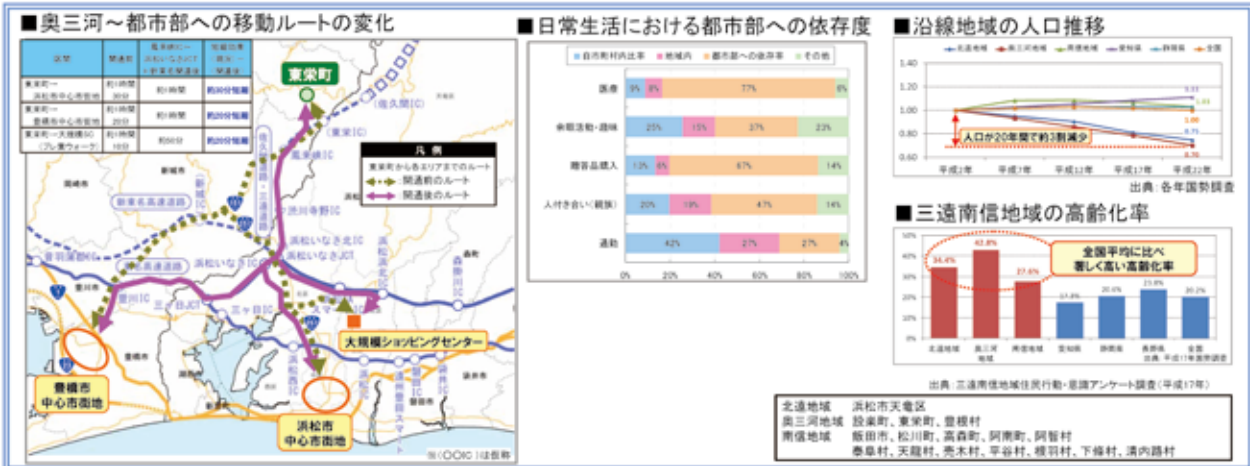
奥三河における観光の質的向上に貢献

- 浜松市の旅行会社は奥三河・南信地域を周遊するバスツアーを新たに企画・販売しており、観光周遊性の向上に貢献。
- 豊橋市の旅行会社によって、今回の開通区間を利用した奥三河行きのバスツアーが催され、滞在時間の増加や余裕のある行程が可能となり、観光の質的向上に貢献。



暮らしやすさの向上に寄与

- 北遠・奥三河地域の人口減少・高齢化の進行は深刻で、地域の活性化を進めるためには生活利便の向上が必要。
- 住民は、買い物等において、浜松市等都市部に依存。
- 今回の開通による浜松市への時間短縮は住民の生活利便の向上に大きく寄与。

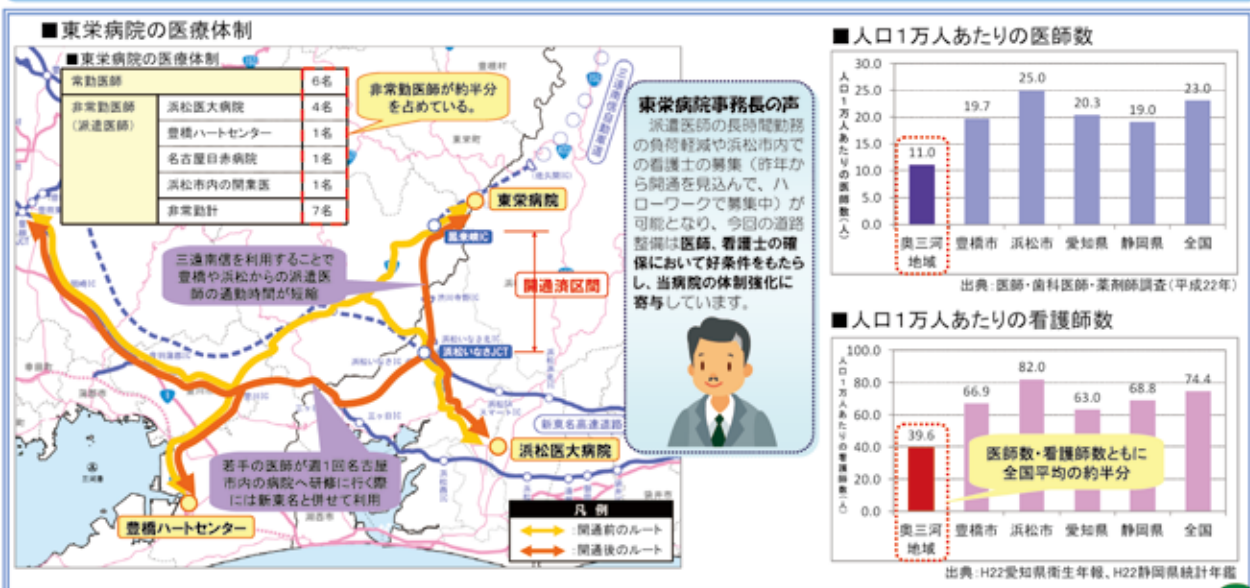


Uターン者(東栄町在住)の声

都市部と比較して、生活の不便さは否めません。買い物するのにも地元では品揃えが悪く(衣服等は高齢者向けが多く、食料品は新鮮なものが少ない)、医療も専門科目は限定されていること等から、浜松市や豊橋市にまで時間をかけていくことがしばしばあります。今回の開通により、約20分の時間短縮が可能となり、生活の利便さが向上しました。

地域医療の強化充実に寄与

- 東栄病院は奥三河地域の重要な医療機関ですが、専門外来は都市部の大病院等から派遣されている非常勤医師で対応。
- 医師だけでなく、看護師も不足傾向。
- 今回の開通による移動時間の短縮で看護師の確保や派遣医師の長時間通勤の負担を軽減し、地域医療の強化・充実に寄与。



円滑な救急救命活動に寄与

- 奥三河地域の医療サービスは十分とは言えず、重篤の救急患者等は都市部の大病院に依存。
- 今回の開通区間は、都市部の大病院への搬送時間の短縮や、搬送患者への負担軽減等、円滑な救急救命活動に寄与。

■三遠南信自動車道・新東名高速道路を活用した救急救命活動

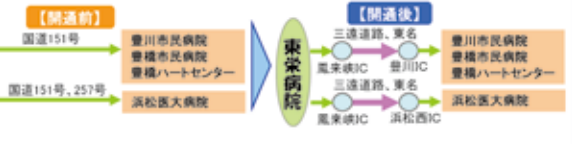


■東栄病院から三遠南信・新東名を利用した転院搬送実績

搬送先	搬送件数	所要時間		
		一般道利用	高速利用	短縮効果
豊川市民病院	7件	約57分	約48分	約9分
豊橋市民病院	6件	約62分	約55分	約7分
豊橋ハートセンター※	5件	約68分	約61分	約7分
浜松医大病院※	1件	約70分	約53分	約17分

期間：H24.3.4～H24.7.1 出典：新城市消防本部ヒアリング結果より

※ 豊橋ハートセンターまでの所要時間は豊橋市民病院までの実績値をベースに民間プローブデータより算出。浜松医大病院は民間プローブデータから算出。



新城市消防本部の声

今春の開通以降、東栄病院から豊川市民病院や豊橋市民病院への搬送では、状況に応じて三遠南信・新東名を利用しています。開通前に比べて所要時間が約10分短縮したとともに、走行性が向上し患者さんや運転手の運転時の負担軽減にもなっています。



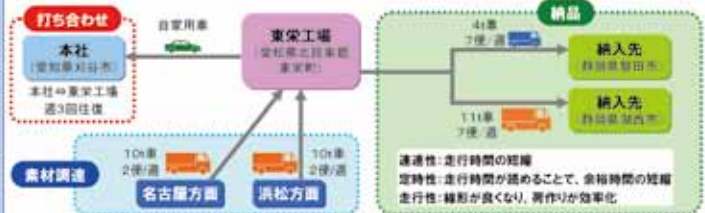
地域の企業を支援

- 東栄町には「愛知ブランド」※に認定された企業が立地。
- 今回の開通による道路サービス（速達性、定時性等）の向上は企業活動の円滑化・効率化に大きく寄与。

※優れた理念、トップのリーダーシップのもと、業務プロセスの革新を進め、独自の強みを発揮し、環境に配慮しつつ、顧客起点のブランド価値等の構築による顧客価値を形成している製造企業のこと。

T社(東栄工場)工場長の声

資材の搬入、製品の納品及び打合せ・出張において約30分の時間短縮が可能となり、業務の大幅な効率化が実現しました。顧客からジャストタイムによる納品が求められていることから、定時性については特に重視しています。道路整備により輸送時間が短縮されただけでなく、輸送時間が読めることから、余裕時間を半減でき、荷崩れの心配が減ったことで梱包にかかる時間が削減されるなど、輸送の大幅な効率化が実現しました。

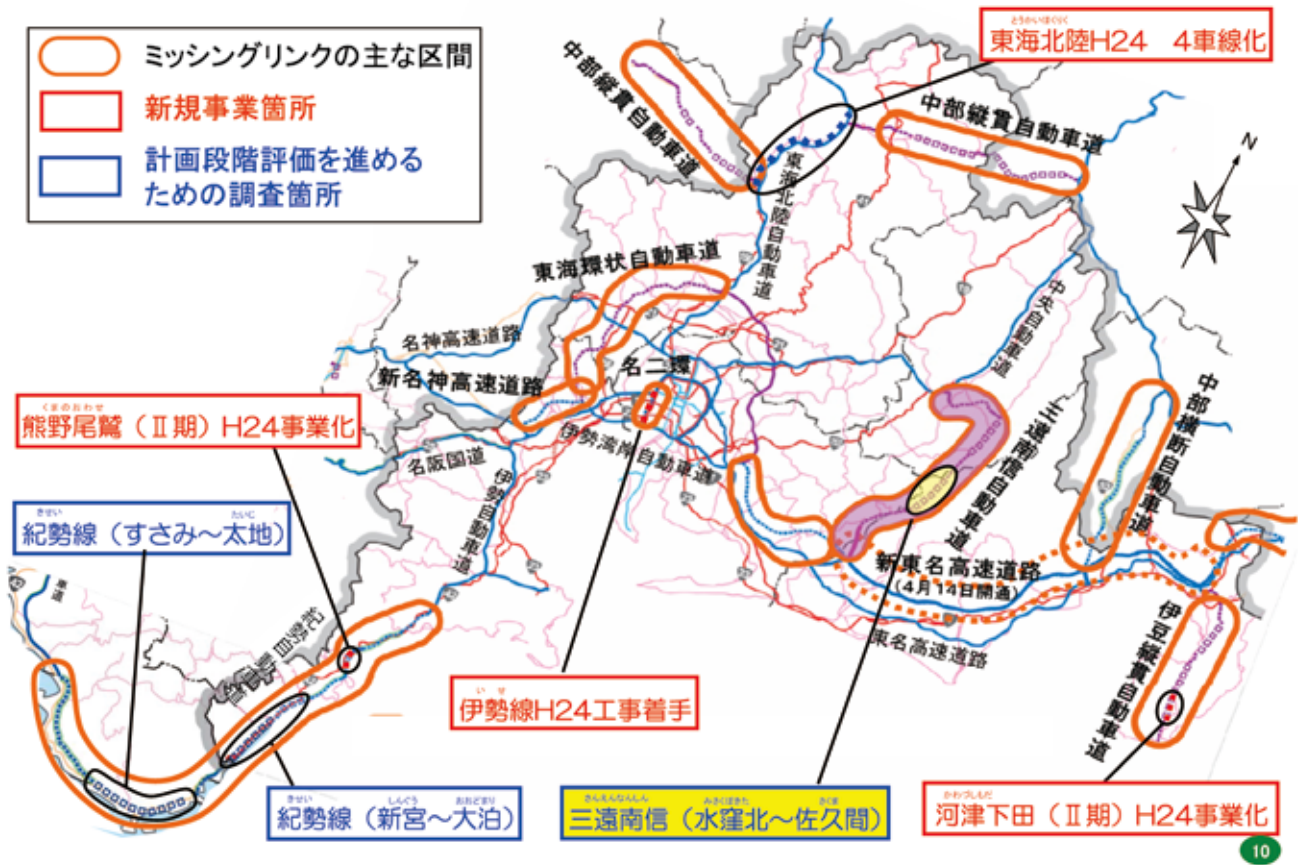


湖西方面への輸送時間(11トン車での輸送時)

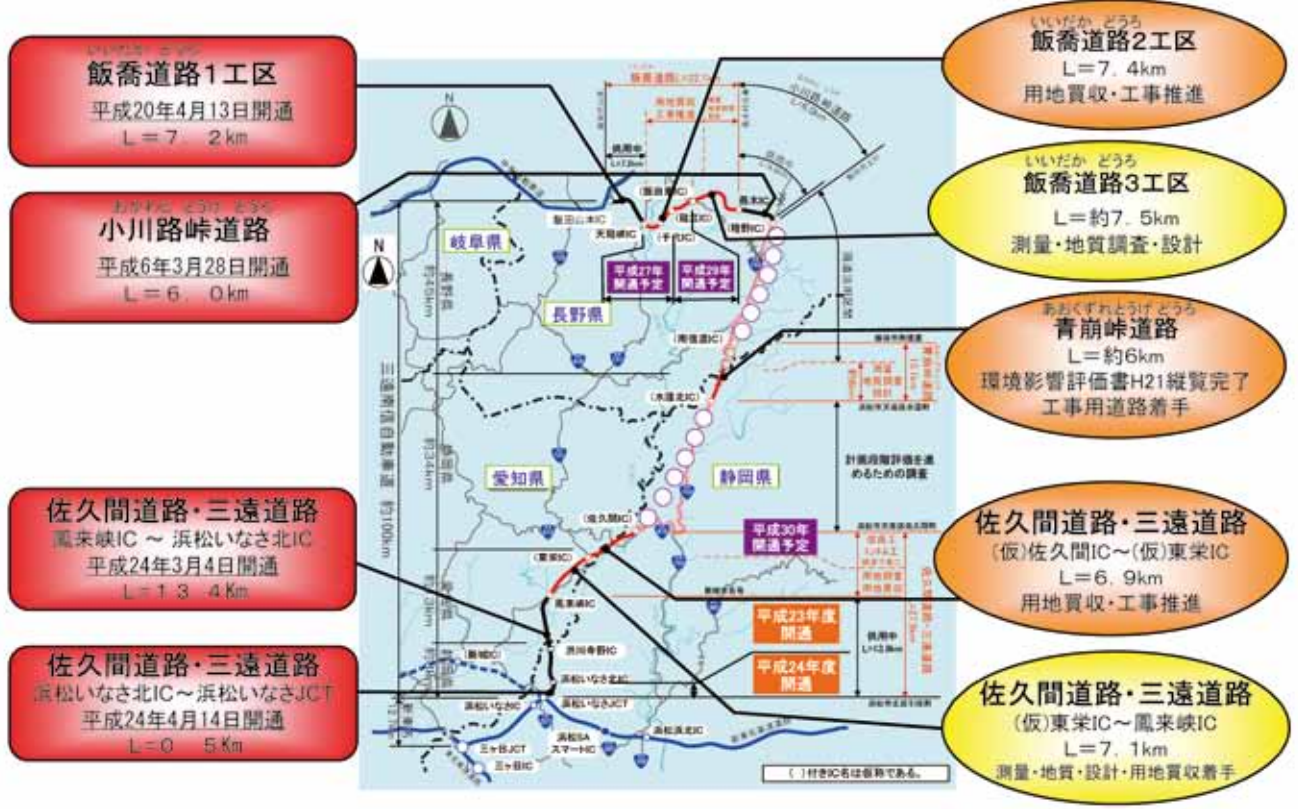


ミッシングリンク

中部地方の新規事業化・計画段階評価を進めるための調査



三遠南信自動車道 全体の進捗状況



期待される整備効果 災害に強い道路機能の確保

- 浜松市と飯田市を結ぶ国道151号は周辺に迂回路がなく、災害等による通行止め発生時には大幅な迂回が必要となっている。
- 三遠南信自動車道の整備により、リダンダンシーが確保され、災害に強い道路ネットワークを構築。

■ 見名トンネル付近の法面崩落

- ★ 全面通行止め
平成24年3月6日から
平成24年4月27日まで
- ★ 昼間片側交互通行(夜間全面通行止め)
平成24年4月28日から
平成24年5月14日まで
- ★ 終日片側交互通行(当分の間)
平成24年5月15日から



■ 原田橋

- ★ 全面通行止め
平成24年4月24日から
平成24年6月24日まで
- ★ 条件付きでの供用開始
平成24年4月25日から
(車両総重量8トン以上通行止)



■ 太和金トンネル

- ★ 全面通行止め
平成23年8月21日から
平成24年2月17日(正午)まで
- ★ 全面開通
平成24年2月17日(正午)から



トンネル内部の崩落状況

高さ制限3.8m
トンネル内車線幅3.5m



損傷箇所(ケーブルの破断)



損傷箇所(破断箇所拡大)



12

今後の開通予定



()は仮称
※未完成のスマートIC名称は仮称

13

翔け「三河港」

愛知県三河港務所

豊川市

豊橋市

蒲郡市

三谷漁港

田原市

形原漁港

赤羽根漁港

沿岸市面積 667 km²

4市人口 708 千人

水域面積 132 km²

三河港の施設



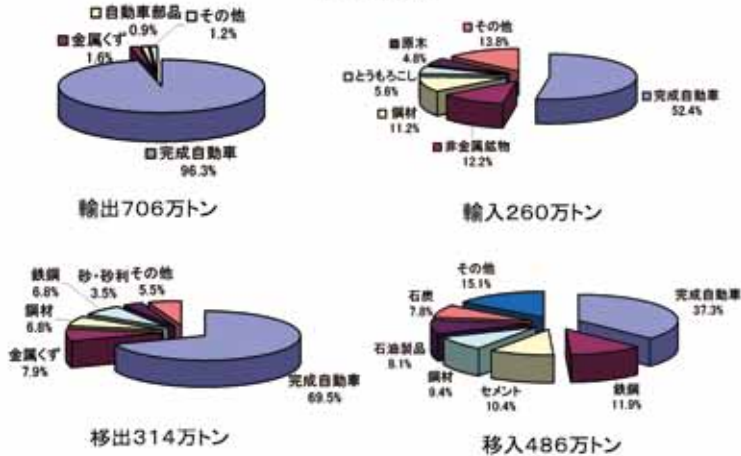
三河港の取扱貨物

・三河港の主要貨物は完成自動車で、全体の69%を占めています。臨海部のトヨタ田原工場や周辺地域では岡崎の三菱自動車、湖西のスズキ自動車の工場など世界有数の自動車産業が集積しており、輸出は台数・貿易額とも全国第3位、輸入は台数・貿易額とも全国第1位となっています。

・また、本港が位置する三河湾は、国定公園に指定され、豊かな自然環境に恵まれており、三河港内にも六条潟をはじめとする良好な干潟・浅瀬があります。

輸移出入別取扱貨物量

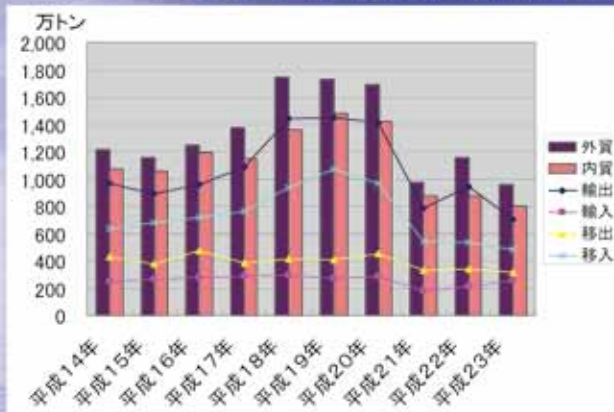
H23実績



三河港背後の自動車企業



三河港取扱貨物量推移



貿易額全国第14位

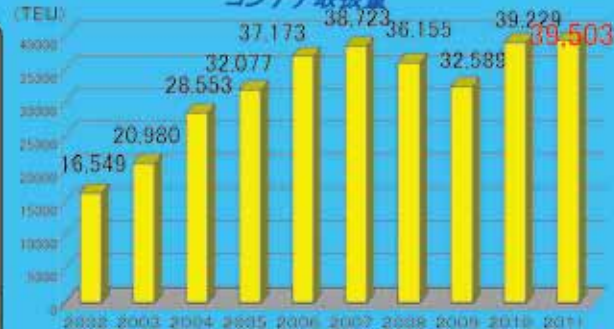
平成23年輸出入貿易額
 輸出価額 1兆1829億円
 輸入価額 4634億円
 合計 1兆6463億円

平成23年取扱貨物量
 外貨 960万トン
 内貨 798万トン
 合計 1,758万トン

コンテナ航路



コンテナ取扱量



平成23年 コンテナ取扱量 約4万TEU

三河港の整備方針

1. 産業・物流の拠点となる港湾整備

- イ ロジスティクスの観点からの港づくり
- ロ 新エネルギーなど新産業企業の拠点となる港づくり

2. 港湾に係る環境の保全・再生

- イ 地域住民に親しまれる、水辺の環境を活かした港づくり

3. 安全安心で災害に強い港湾整備

- イ 大規模地震・津波・高潮に対応する港づくり
- ロ 港湾施設の良い維持管理





海岸耐震対策緊急事業

(堤防の液状化対策)



背後地の保護

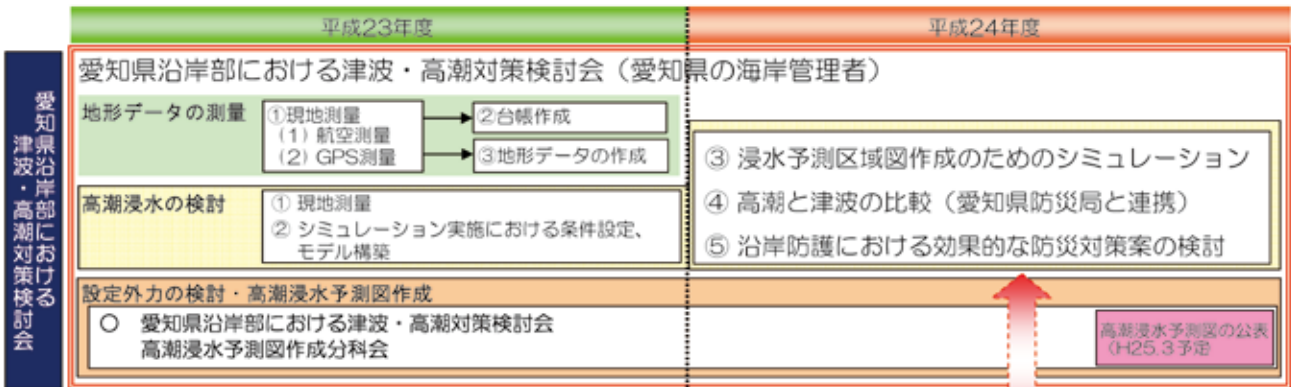
神野ふ頭

三河港 | C

L=1,215m

船渡ふ頭

愛知県沿岸部における津波・高潮対策検討について



愛知県防災局が実施している地震・津波被害予測の見直しと連携し、防護対策について検討を行う

	平成23年度	平成24年度	平成25年度
愛知県 防災局	愛知県防災会議 ○愛知県東海地震・東南海地震・南海地震等被害予測調査検討委員会 H23.9.15～	愛知県における東海・東南海・南海地震の地震動及び津波による被害予測調査	地震・津波被害予測結果の公表 (H25.6予定)
内閣府	中央防災会議 ○南海トラフ巨大地震モデル検討会 H23.8.28～	南海トラフ巨大地震モデルによる被害予測結果の公表	

外力レベル	津波・高潮ハザードマップマニュアル (H16.4)	中央防災会議 (東北地方太平洋沖地震を教訓とした地震・津波対策に関する専門調査会)	従来の技術基準等 (耐震設計)	従来の考え方 (設計高潮位)
レベル1	視察に実感できる発生頻度の外力	防護レベル	レベル1 (再現期間50年の期待地震動)	伊勢湾台風 台風期高潮位 + 既往最大偏差
レベル2	防護目標にかなう施設設計上の外力		レベル2 (再現期間1000年の期待地震動、あるいはプレート断層地震動)	
レベル3	最悪の浸水状況をもたらす外力	滅災レベル		

本年度のポートセールス

(現状) 経済不安の影響で港湾貨物の低迷・臨海部立地企業の移転

(目的) 三河港背後圏の経済活動の維持・発展

(課題) 利用者の意見を反映させた効率的な施設整備と利用促進



背後地で港湾の利用者並び利用の可能性のある方々に
三河港への要望・意見を聞きながら情報交換

＝ポートセールス

H24年度

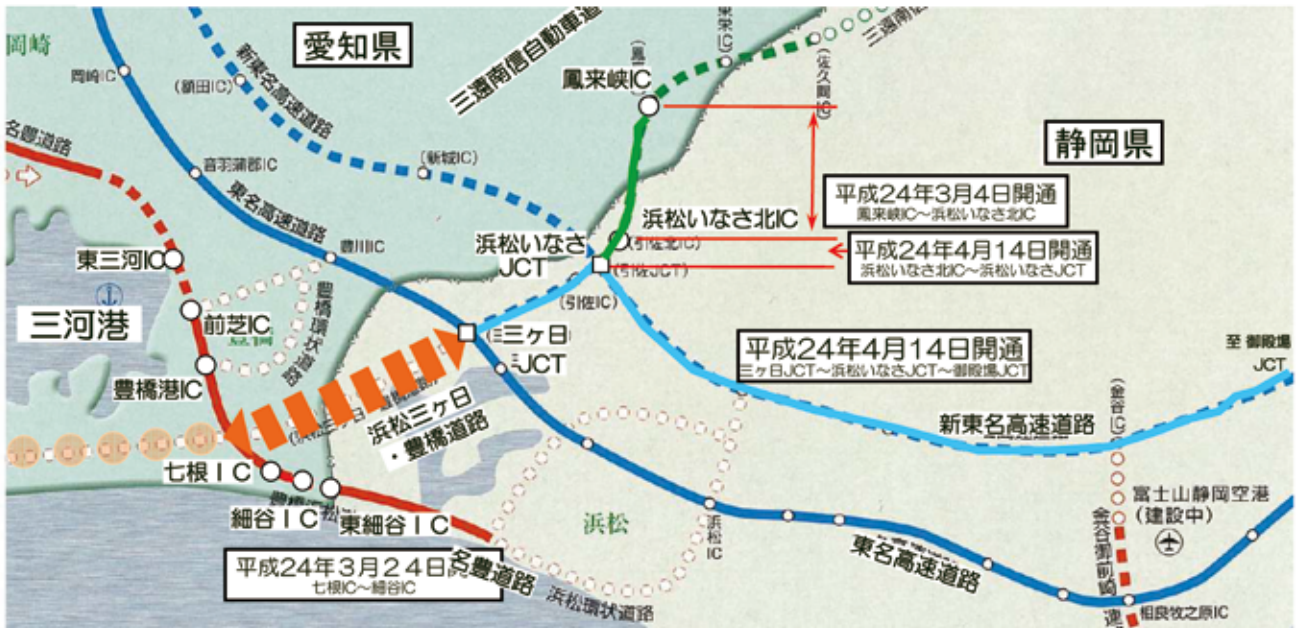
- ・企業訪問の継続実施
- ・三河港利用促進・競争力強化事業

荷主等の物流ニーズ

三河港に対しての要望(平成21、22年度ヒアリング)



三河港を取り巻く幹線道路の整備について ～物流基盤・ネットワークの強化～



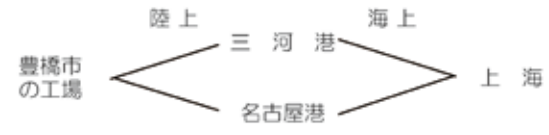
東西軸

新東名高速道路の開通
名豊道路の開通・4車線化

南北軸

三遠南信自動車道の開通
浜松三ヶ日・豊橋道路の早期整備

豊橋市の企業の20 ftコンテナ1個当たりの輸送コスト比較



※ 三河港務所作成

項目	港		差
	三河港	名古屋港	
① 輸送距離	陸	74.4	△ 87 km
	海	1,706	
② 輸送費用	陸	54,560	△ 29,510 円
	海	29,160	
③ 輸送時間	陸	2.7	△ 2.9 hr
	海	46.1	
④ 輸送時間費用	陸	4,293	△ 4,675 円
	海	73,773	
⑤ CO2排出量 kg-CO2	陸	232	△ 217 kg
	海	1,198	
⑥ CO2排出量 コスト額	陸	996	△ 927 円
	海	5,150	
総コスト	132,820	167,932	△ 35,112 円

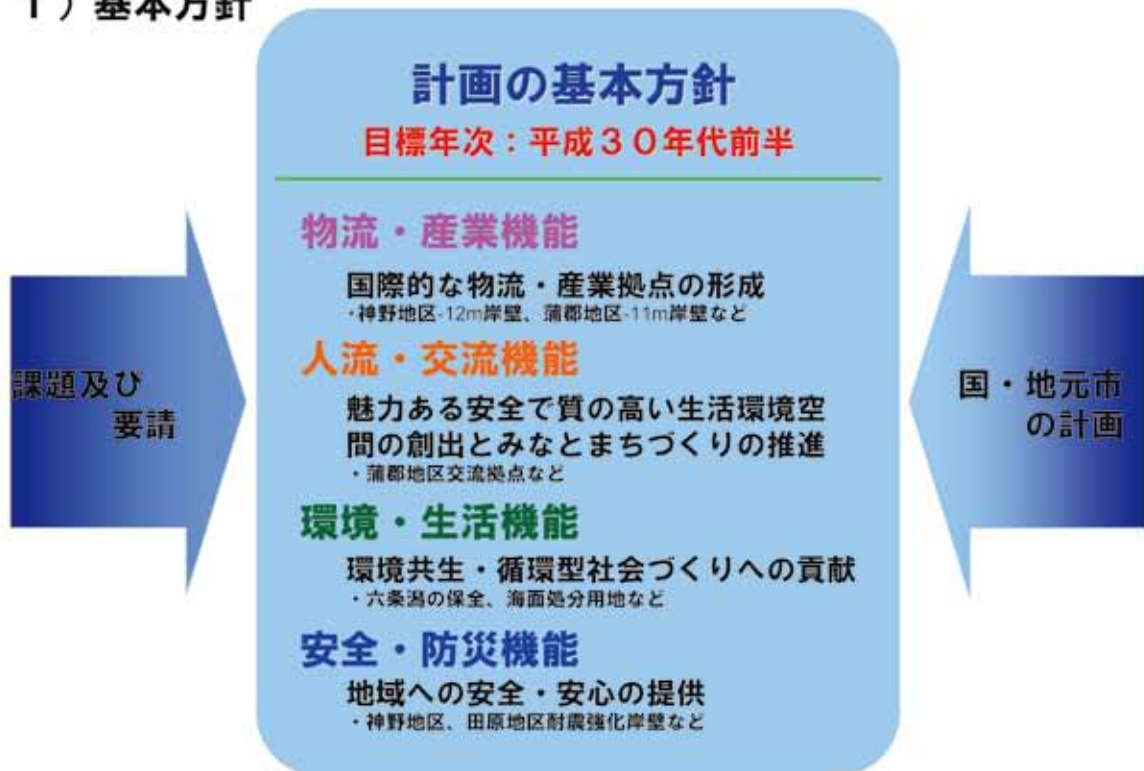
三河港を使用すると20 ftコンテナ1個あたり縮減
 輸送コスト 34,185 円
 輸送時間短縮 2.9 hr
 CO2排出量 217 kg 削減
 CO2排出量コスト 927 円
 総コスト縮減額 35,112 円

※ この資料は、ある一定の条件で作成したものです。



三河港港湾計画改訂(第6次)

1) 基本方針



三河港港湾計画改訂(第6次)

2) 今回計画の主な内容



三河港の目標

重要港湾から国際拠点港湾への昇格に向けて

世界につながるゲートウェイと
ロジスティクスパークを目指す

三河港

重点プロジェクト

政策の基本方針1：中部圏の中核となる地域基盤の形成

① 三遠南信自動車道の整備促進と三遠伊勢連絡道路(伊勢湾口道路)構想の実現

三遠南信 250 万流域都市圏の骨格を形成し、三遠南信地域を太平洋地域と日本海地域を結ぶ日本の中央回廊とするために、三遠南信自動車道の整備促進を働きかけるとともに三遠伊勢連絡道路(伊勢湾口道路)構想の実現に向けた取り組みを推進します。

【活動イメージ】

- ・ 三遠南信自動車道の高規格幹線道路としての全線にわたる早期整備を目指します。特に、(仮)青崩峠道路の早期開通を強く働きかけます。
- ・ 三遠伊勢連絡道路(伊勢湾口道路)構想の実現に向けて関係機関へ積極的に働きかけます。

【推進主体とその活動】

- ・ 自治体、商工会議所・商工会等が中心となって、国への要望などの活動を進めます。

② 三河港、御前崎港、中部国際空港、富士山静岡空港の整備と高速道路へのアクセス路の整備促進による国際ゲートウェイ機能の充実

国際的に競争力のある産業を有する三遠南信地域の国際ネットワークを保持・強化するために、三遠南信地域の国際ゲートウェイとして、三河港、御前崎港、中部国際空港、富士山静岡空港の整備、高速道路へのアクセス路の整備を促進することによって、世界に直結した(シームレス)ネットワークを形成します。

【活動イメージ】

- ・ 港湾、空港と高速道路が一体として機能できるように優先的整備を進めるため、国・県等の関係機関に働きかけるとともに、その積極的な利用に努めます。
- ・ 三河港は、世界的な自動車港湾としての機能を充実するとともに、コンテナ物流の機能を強化します。また、(仮)浜松三ヶ日・豊橋道路構想の実現など、高速道路へのアクセス強化、後背地と港湾を結ぶ国道 23 号バイパスの整備促進を働きかけます。
- ・ 御前崎港は、地域の物流拠点としての機能強化を図るとともに、国道 150 号や金谷御前崎連絡道路の整備を進めます。
- ・ 中部国際空港及び富士山静岡空港においては、就航本数や国内外定期便の増大など利便性の向上に向けた要望を行うとともに、交通アクセスの向上により地域の回遊性などを高め、観光客、航空貨物等の受け入れ態勢を整えます。

【推進主体とその活動】

- ・ 自治体、商工会議所・商工会等が中心となって国への要望などの活動を進めます。

③ リニア中央新幹線の早期実現と飯田駅設置

リニア中央新幹線が整備されることで、首都圏や近畿圏から三遠南信地域への北のゲートウェイとして飛躍的にアクセスが向上し、経済効果も期待されます。内陸部における発展を促進する新たな国土の大動脈として、安全・安心かつ大量高速輸送機関であるリニア中央新幹線の早期実現と飯田駅設置を促進します。

【活動イメージ】

- ・ リニア中央新幹線の早期実現に向けて、全国新幹線鉄道整備法の基本計画から整備計画への格上げを働きかけます。
- ・ 新しく策定される国土形成計画に、科学技術創造立国に相応しいリニア中央新幹線の整備を明確に位置づけるように働きかけます。
- ・ 関係機関と連携、協力し、建設促進の運動や要請活動、調査等を行うとともに、飯田駅実現に向けた運動に取り組みます。

【推進主体とその活動】

- ・ 自治体、商工会議所・商工会等が中心となって、国等への要望などの活動を進めます。

④ 豊橋・浜松環状道路を形成するネットワークの整備促進

浜名湖を境として豊橋、浜松に分割されている都市集積を一体化することで、東海道における150万人広域都市を形成し、三遠南信地域の発展を牽引する都市集積を高めます。このため、三遠都市帯において豊橋・浜松環状道路を形成するネットワークの整備を促進します。

【活動イメージ】

- ・ 東名高速道路、国道1号・23号バイパス、国道151号、国道152号バイパス、(仮)浜松三ヶ日・豊橋道路を結び合わせることで、豊橋・浜松環状道路を形成するネットワークの整備を促進します。
- ・ 東名高速道路部分については、第二東名高速道路に長距離交通が転換すると考えられ、スマートインターなどを活用して、利用を促進します。
- ・ 豊橋・浜松環状道路を取り巻く地域に対して、県境を越えた広域的な視点（広域調整）により都市構造やインフラなどの資本ストックを有機的に結び付けた基盤整備を進めます。特に広域都市の中心部に位置し、交流や居住など多様な可能性を有する浜名湖ゾーンの活用を図ります。

【推進主体とその活動】

- ・ 自治体、商工会議所・商工会等が中心となって、整備方針を検討します。

⑤ 県境を越えるマスコミの連携

三遠南信地域のマスコミ機能は、必ずしも一体化されておらず、生活情報等が分断される傾向にあります。住民や企業が県境を越える情報の共有化を進め、交流や企業連携を促進するために、県境を越えるマスコミの連携を促進します。

【活動イメージ】

- ・ 三遠南信地域内の情報連携の基盤として、各マスコミの連携に向けた意見交換を促進します。
- ・ 県境近接地域での、医療情報等の生活情報の連携を働きかけます。
- ・ 「三遠南信版」の紙面確保や共同ポータルサイトの可能性検討、情報交換を働きかけます。
- ・ 県境を越えるCATVの番組流通や、県境隣接地域での他県の民間テレビ電波の受信の緩和を働きかけます。

【推進主体とその活動】

- ・ マスコミ各社と、自治体、商工会議所・商工会、市民団体などと意見交換を行い、連携活動を検討します。



分科会

資 料

三遠南信発!

イノベーション創出を目指した 産学官・地域間連携による取組

～東三河の事例を中心に～

豊橋市産業部長 瀧川 雅弘

三遠南信地域の産業集積等の現状

- ✓東京、名古屋、大阪の中間に位置
- ✓温暖な気候
- ✓高度なインフラ
高速道路
鉄道、港湾、空港
工業・農業用水
- ✓良質な労働力

多様で競争力の高いものづくり産業の集積

スズキ、ホンダ、ヤマハ、
ヤマハ発動機、
浜松ホトニクス、ローランド、
武蔵精密工業、本多電子、
樹研工業、多摩川精機、
夏目工学・・・

課題: 変化に対応できる産業基盤づくり
新産業創出と産業集積の形成

全国有数の農業地帯

農業産出額 田原市:1位
浜松市:4位
豊橋市:6位

食品・農業関連産業の集積

課題: 農業の後継者育成・確保
耕作放棄地の解消 等

人口 約200万人
製造品出荷額 約10兆円
農業産出額 約2700億円

三遠南信地域における産学官・地域間連携事業



東三河地域における「新農業」取り組みの背景

全国有数の農業関連産業の集積

農業産出額 全国一のエリア
農業・食品関連企業の集積

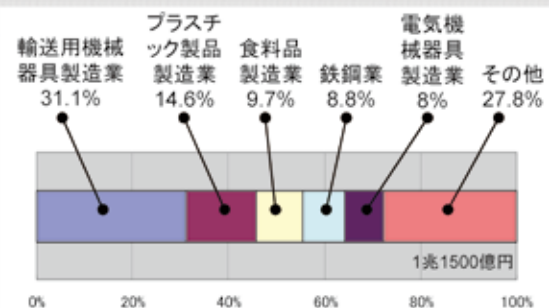
農業産出額(H18年)

	金額	全国順位
田原市	724億円	1位
浜松市	541億円	4位
豊橋市	474億円	6位

多様な業種がバランスよく集積

農・工・商の良好なバランス
多様な分野の
高度な技術を持ったものづくり企業の集積

業種別製造品出荷額等:豊橋市(H22年)



豊橋技術科学大学の研究者

先端的・高度な研究を行う研究者の集積
産学連携推進本部を中心とした連携体制

産学連携・新事業創出を担うサイエンス・クリエイト

新農業

食農産業を基点とした
次世代リーディング産業の創造

食農産業クラスター推進協議会

産学官連携、プロジェクト形成の場

株式会社サイエンス・クリエイトの概要



豊橋サイエンスコアは
新産業への開拓をめざす
東三河地域の
産業技術支援拠点です

会社概要

- 【所在地】
愛知県豊橋市西幸町字浜池333-9
- 【出資構成】
愛知県、豊橋市、日本政策投資銀行及び民間企業113社
- 【会社沿革】
昭和63年 サイエンス・クリエイト21推進協議会発足
平成2年 会社設立
平成4年 豊橋サイエンスコアしゅん工
- 【特徴】
・東三河唯一の産業支援機関
・産学連携による新産業創出を目指すサイエンス・クリエイト21計画の実施主体

事業概要

- 【施設管理事業】
豊橋サイエンスコアの管理
・ホール、会議室等の貸しスペース
・起業家育成のための貸しオフィス
- 【インキュベーション事業】
・創業支援
・起業家育成
・起業家交流
・販路開拓
・イベント開催
- 【産学連携事業】
・技術相談
・研究助成
・産学連携交流
・イベント開催

食農産業クラスター推進計画

異業種・地域間連携から生み出される農業生産の効率化、農作物の高付加価値化等、農業・食品産業を基点とした新たな価値の創出を目指す

新農業 クラスター の形成

農業者等

食農産業クラスター推進協議会

- 事務局 株式会社サイエンス・クリエイト
- 会員 農業分野をはじめとする異業種で構成
会員数 約110団体
賛助会員 約20団体(大学、行政機関等)
- 役割 異業種の出会いの場
リサーチ機能
連携のコーディネート
地域ブランドの育成

食品加工業者

流通・販売業者

農業関連企業

大学・研究機関

新技術・新商品開発
プロジェクト推進

農業生産技術・製品の
開発

農畜産物の付加価値
向上、新商品開発
(青じそ、うずら、キャ
ベツ、トマト等)

販路開拓

セミナー、フェアの
開催

交流、マッチング

食農産業クラスターの取り組み紹介

食農産業クラスター 2007年度～2010年度の歩み

「4年間で24事業を立ち上げ、事業全体で1億円を投じ14億円の売上を実現！」

食農産業クラスター推進協議会に対してこの4年間で、自治体からの委託および補助金の合計額1億円、24事業のうち「食ビオ加工研究会」では平成20年に農林水産省・経済産業省の農産工専攻産研認定、平成21年には地域を活性化する農産工産物ベストプラクティス20に選定され、6次産業のモデルとして全国的にも注目され、「うむ内部技術活用」は平成20～21年間の農林水産省・研究開発実用化促進事業に選定。また、海外輸出事業は経済産業省から地域中小企業海外展開支援事業として補助交付金を受け海外展開とのネットワークを確立。これらを含め事業全体売上高は14億円となった。

新商品開発

新工場の研究開発
輸入産物ブランドの輸出プロジェクト
「うむ」ブランドの輸出促進
海外輸出支援
海外輸出支援
海外輸出支援



新しい加工品
生産者、地元産品をテーマに、地元産品を中心とした商品の開発を進めて、4月以降をスタート。

海外事業

海外輸出プロジェクト
海外輸出支援
海外輸出支援
海外輸出支援



海外輸出支援
海外輸出支援
海外輸出支援

農業関連技術開発・普及

土壌センサー
土壌センサー
土壌センサー
土壌センサー



農業関連技術
農業関連技術
農業関連技術

人材育成

人材育成
人材育成
人材育成
人材育成



人材育成
人材育成
人材育成

食農産業クラスター 2011年度からの進化へのチャレンジ

「地域資源の潜在能力を引き出し、新しい価値創造が持続可能な地域産業を確立！」

商品競争力を強化するブランド化と新販路・新顧客の開拓



ブランド化
ブランド化
ブランド化

海外展開とのネットワーク強化と販路マーケットの開拓



海外展開
海外展開
海外展開

施設栽培・バイオマス活用技術応用の実証施設建設



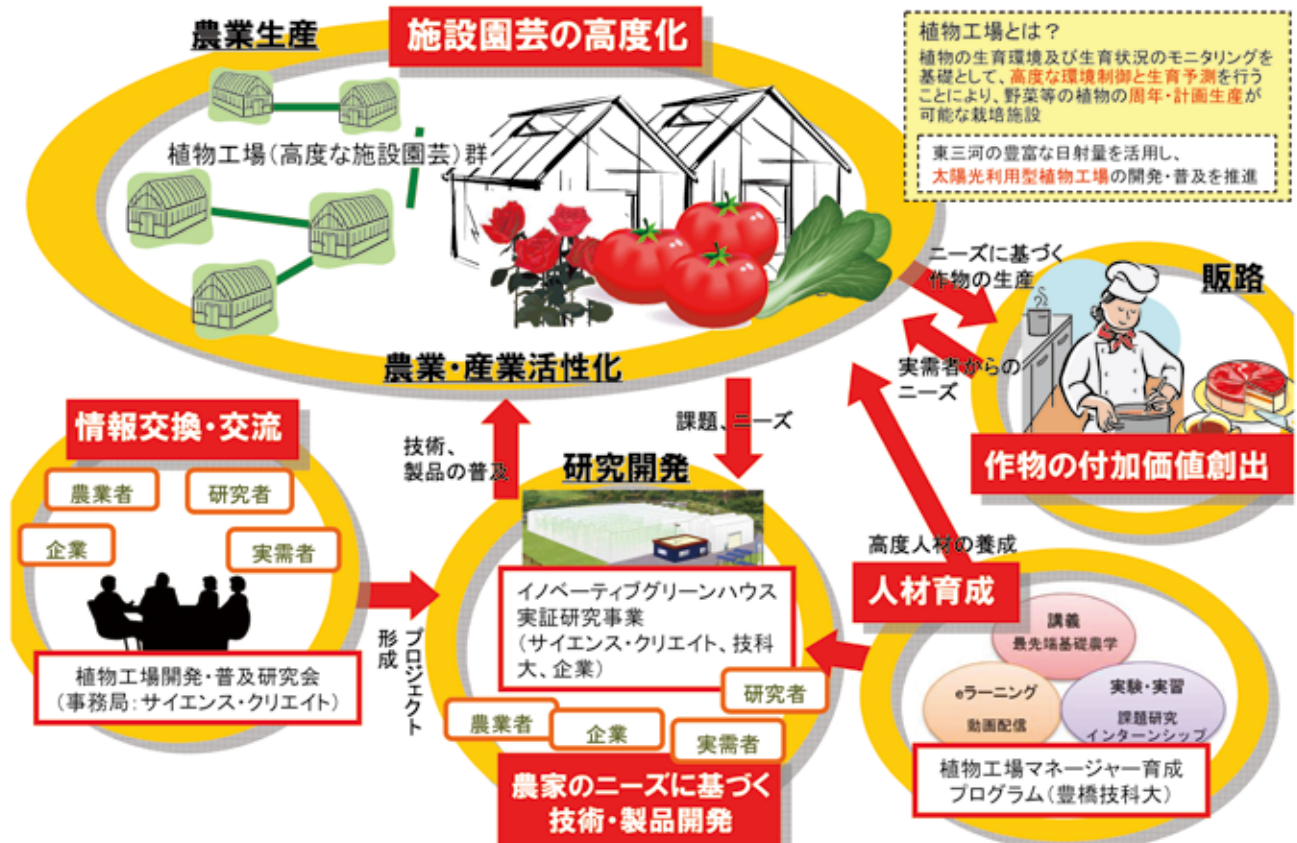
施設栽培
施設栽培
施設栽培

専門的な技術・能力・組織等の情報提供と人材育成支援



人材育成
人材育成
人材育成

植物工場の開発・普及拠点の形成



植物工場実証研究事業について

事例紹介: イノベティブグリーンハウス(IGH)プロジェクト



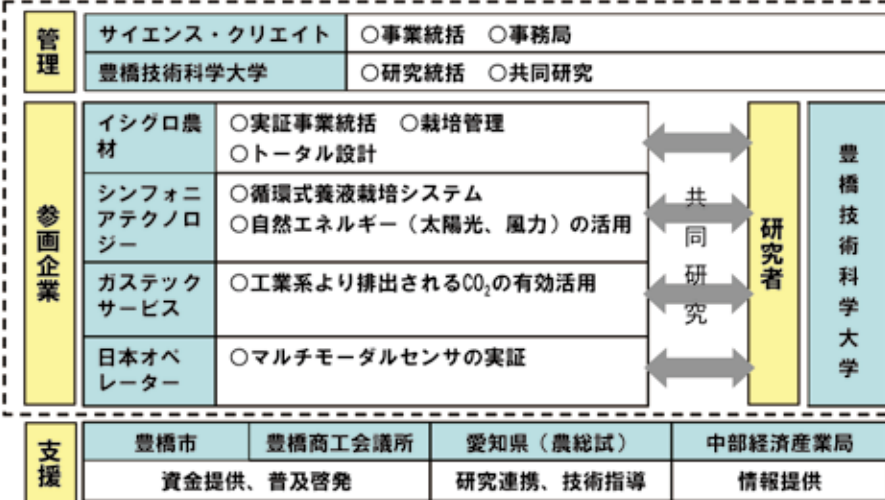
【目的】

1. 大玉トマト国産品種での日本初、50t/10aの達成
2. 5年間の実証栽培データを分析し、栽培マニュアル作り
3. 産学官連携による研究を実施
4. 事業の成果を普及し、地域産業活性化を目指す

【概要】

テーマ	自然エネルギー活用型次世代高収量生産植物工場の為の新技术の実証設備整備
施設建設場所	豊橋市西幸町 豊橋リサーチパーク4-2街区
施設規模	栽培棟1,280m ² 機械・空調室256m ² 管理棟45m ²
栽培スケジュール	H24年7月下旬(定植) # 9月下旬~(収穫)
補助事業名	経済産業省 イノベーション拠点立地支援事業 豊橋市 植物工場普及促進事業

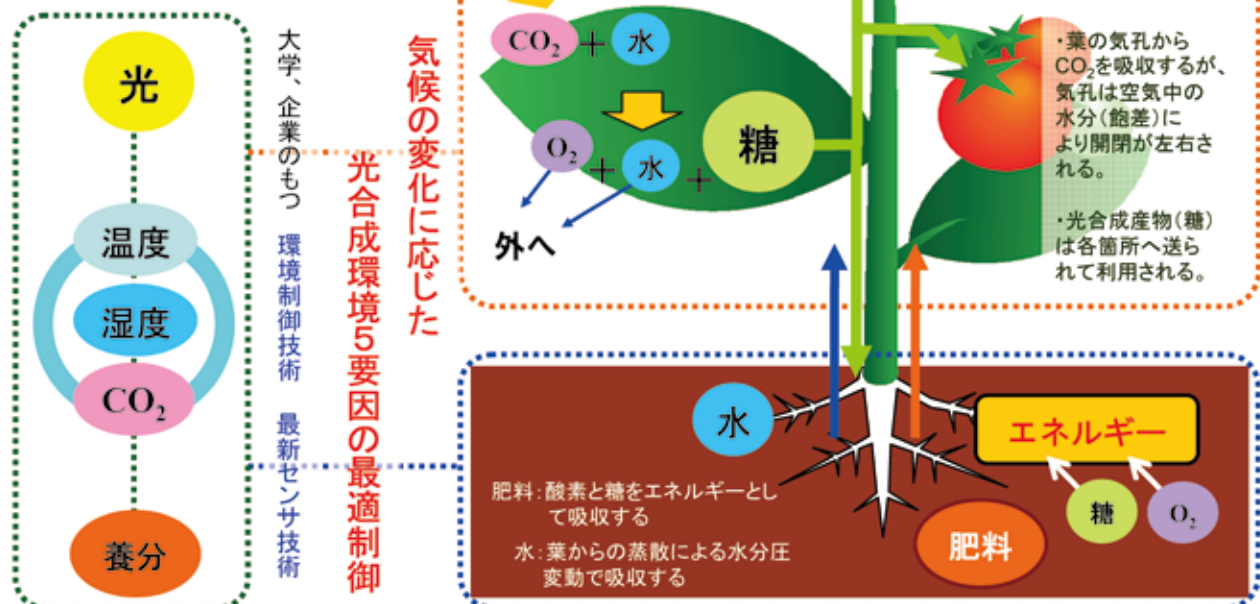
【体制】



植物工場実証研究事業について

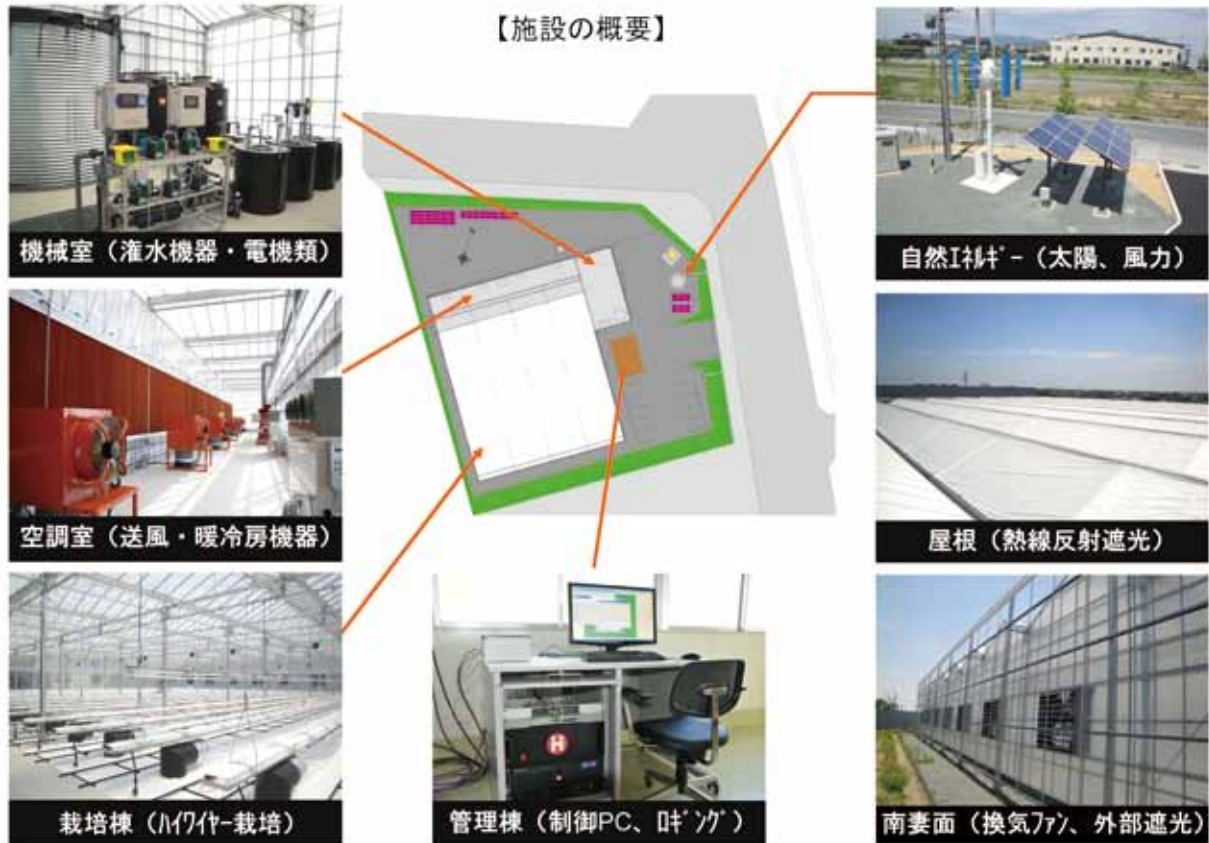
事例紹介: イノベティブグリーンハウス(IGH)プロジェクト

【50tを実現するために】



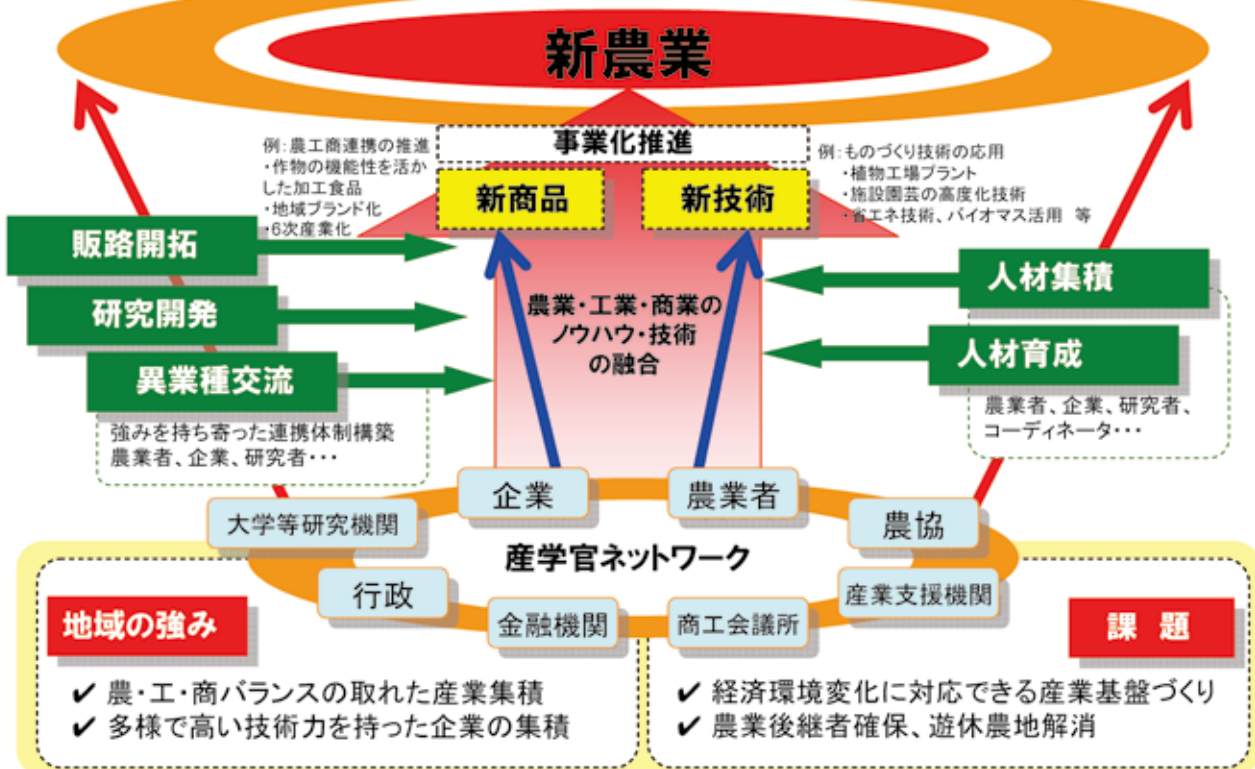
植物工場実証研究事業について

事例紹介: イノベティブグリーンハウス(IGH)プロジェクト



新農業クラスターの形成を目指して

食と農を基点とした異業種・産学官・地域間連携による
次世代リーディング産業の創出



三遠南信地域社会雇用創造事業の 取り組みについて

平成24年10月2日

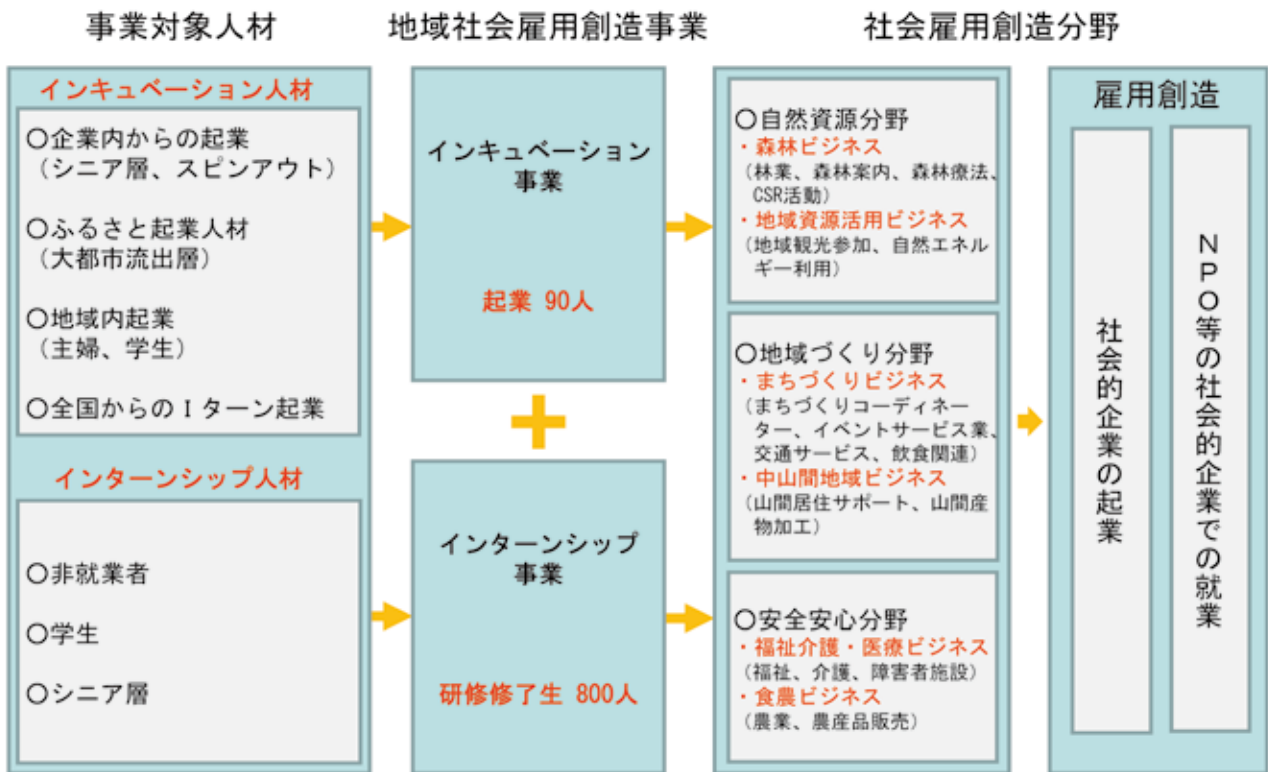


三遠南信地域社会雇用創造事業

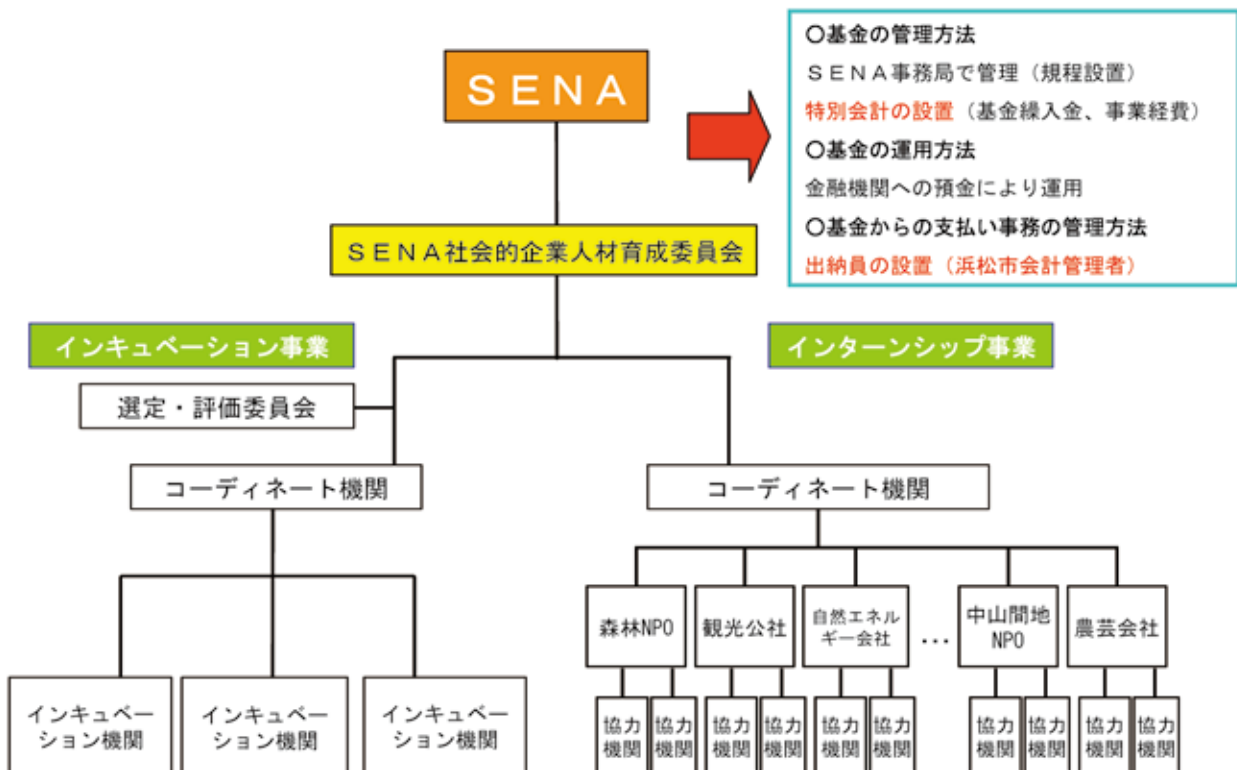
内閣府の「地域社会雇用創造事業」に応募し、採択（53事業者の応募のうち、採択は全国12事業者）

1 事業費	7億円（平成22年3月24日交付決定）
2 事業期間	平成22年3月24日から平成24年3月31日まで
3 事業目的	次の3分野において、社会起業インキュベーション事業及び社会的企業人材創出・インターンシップ事業を行うことにより、雇用創造のネットワーク・システムを構築し、社会的企業による継続的な雇用創造を図る。 (1) 自然資源を活用した雇用創造分野 （森林ビジネス、地域資源活用ビジネス） (2) 地域づくりによる雇用創造分野 （まちづくりビジネス、中山間地域ビジネス） (3) 安心安全を確保するための雇用創造分野 （食農ビジネス、福祉介護・医療ビジネス）
4 事業内容	(1) 社会起業インキュベーション事業 (2) 社会的企業※人材創出・インターンシップ事業 ※ 社会的企業とは 少子化、環境被害、地域の衰退などの社会的課題について、事業性を確保しながら自主的かつ積極的に取り組むNPO法人等をいう。

事業対象人材と雇用創造分野



推進体制及び基金の運用・管理方法



社会的企業人材創出・インターンシップ事業

1 事業概要

(1) 事業内容	NPO法人等と連携し、非就業者、学生、シニア層などを対象としたインターンシップ（職場体験）研修を実施し、社会的企業への就業を支援する。
(2) 目標	研修修了生 800人
(3) 研修日数	30日間（2年間で6期開催。各期の研修は概ね3ヶ月程度の期間内で実施。研修生受入機関での分野別研修26日間、SENAが実施する集合研修4日間）
(4) 研修生受入機関に対する交付金	研修修了生1名につき135,000円を交付
(5) 研修の受講料	無料
(6) 活動支援金	年収見込額が基準を下回るなどの条件を満たし、研修を修了した方に150,000円を支給

2 事業実績（研修修了生数）

地域	第1期	第2期	第3期	第4期	第5期	第6期	合計
遠州地域	27	69	158	146	140	146	686
東三河地域	64	55	27	65	43	57	311
南信州地域	2	29	13	13	10	6	73
合計	93	153	198	224	193	209	<u>1,070</u>

4

集合研修の様子



集合研修は4日間で、研修生の意識啓発等を目的として、講義、ワークショップ、交流会、報告会等を行った。集合研修は3地域（東三河地域、遠州地域、南信州地域）ごとに開催し、集合研修Ⅰの1日目、集合研修Ⅲは一般公開とした。

5

インターンシップ研修の様子



「農業をちら見しよう」

農業経営の実際を生産者の下で経験することで、将来、ビジネスとして農業を考えるきっかけを作る。研修を通して、これから就職される方や転職を希望される方に対して農業をビジネスとして捉えるための経験や情報を伝える。

「自然エネルギーを利用する2又は3輪EV車及び船舶等の開発技術者の育成」

太陽光・風力発電、バイオエネルギー発電、急速充電設備、EV車やソーラービークルの構造を学び、基本的な電気知識や各種バッテリー、充電装置の安全な取り扱いを研修。



社会起業インキュベーション事業

1 事業概要

(1) 事業内容	新たな雇用を創出するため、三遠南信地域において社会的企業の創業・事業化を目指す方を支援するもの。 「社会起業プラン・コンペティション」により優秀な事業計画を選定し、その策定者に対して起業支援を実施する。
(2) 目標	90名の起業
(3) プラン・コンペティション	2年間で4期開催。書類審査（1次審査）及びプレゼンテーション審査（2次審査）により選定。1次審査通過者にはブラッシュアップ指導を行う。
(4) 起業支援	起業研修講座の開催、起業アドバイザーの紹介
(5) 起業支援金	起業した方に提供（上限220万円）

2 事業実績

地区別	第1期		第2期		第3期		第4期		合計	
	起業支援対象者	起業者	起業支援対象者	起業者	起業支援対象者	起業者	起業支援対象者	起業者	起業支援対象者	起業者
遠州地域	5	5	6	6	8	8	11	11	30	30
東三河地域	10	9	9	7	14	14	9	9	42	39
南信州地域	1	1	3	2	3	2	5	4	12	9
合計	16	15	18	15	25	24	25	24	84	78

プレゼンテーション審査



1次審査（書面審査）及び2次審査（プレゼンテーション審査）により、優秀な事業計画を選定した。選定された事業計画の策定者（以下「起業支援対象者」という。）は、インキュベーション機関から起業の支援を受けることができる。

起業に結びついた事例

中山間地域の生活を体験してもらうため、農業（茶つみ、園芸・果樹栽培等）や林業（椎茸栽培、炭焼き等）等豊富な体験メニューを実施する農家民宿を開業する。

森林の資産価値の低下と山間地の過疎化に伴う不在山主の増加、地域住民の高齢化という課題解決を目指し、GPS・GISを活用した森林データの収集、間伐事業、地域木材活用の企画・運営するNPO法人を設立。

発達障害児の療育や発達障害児を持つ家庭の育児相談を行う児童デイサービスを開業。地元小学校、幼保育園、保健センター等と連携し、発達障害児の早期発見・早期療育に努める。

8

起業研修講座



基礎から実務まで、起業の際に必要な知識の習得を目的とした起業研修講座を開催した。

基礎編…社会的企業の概要、起業の心構え、基礎知識等について
実務編…ビジネスの手法、パートナーシップ手法、経理、マーケティング分析、資金調達等について

9

社会起業インキュベーション事業 フォローアップ事業

社会起業インキュベーション事業にかかるフォローアップ事業

1 事業期間	平成24年9月から平成25年3月まで
2 事業趣旨	<ul style="list-style-type: none"> ・三遠南信地域社会起業インキュベーション事業によって、78名が社会的企業を起業した。 ・起業者が安定した経営を続けていくためには、経営相談等のフォローアップが欠かせない。 ・支援のため、SENA及び三遠南信地域経済開発協議会の共同事業として実施する。
3 事業目的	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会起業インキュベーション事業の効果の継続的な把握・検証 2. 起業者の事業の広報 3. 起業を目指す方々への実践的ノウハウの提示
4 事業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 起業者への現況調査、調査報告書作成 2. 起業者の事業内容を紹介する冊子原稿の作成

10

三遠南信地域連携ビジョン推進のために

三遠南信地域連携ビジョンにおける「人材育成」の位置づけ

「技」重点プロジェクト、重点プロジェクト工程表
 「国内外に向けた人材・企業誘致の活動促進」に位置づけ

・三遠南信地域では、各地域の特徴を活かした産業の集積がされている。これを更に発展・拡大させるために必要な人材をどうやって育成するかが課題。

平成24年度 官民連携主体による地域づくり推進事業

大学等高等教育機関と経済界・行政の連携による推進体制の整備
 (仮称)三遠南信大学シンポジウム・人財育成円卓会議の開催【23～27年度】
 ・次世代社会基盤創造分野に関わる人財育成・定着化を促すため、産学官金の地域経営者等から構成される会議を開催し、地域高等教育戦略(地域学士力)を推進するための検討
 ※平成23年度は大学シンポジウムとして開催

社会起業インキュベーション事業 フォローアップ事業と官民連携主体による地域づくり推進事業

大学、行政、企業、市民団体の連携あるいは県境連携という点から人材育成のための環境整備に取り組む。

11

重点プロジェクト

政策の基本方針 2：持続発展的な産業集積の形成

① 三遠南信ビジネスマッチングの推進

三遠南信地域の地域経済の活力を高めていくために、県境を越えて企業間の交流を深め、新規ビジネスの創出を支援します。

【活動イメージ】

- ・ 三遠南信地域を対象としたビジネスマッチング機会を積極的に創出します。
- ・ 信用金庫等の地域金融機関が連携して、企業・人材情報を蓄積し、企業交流を促進します。また、地域金融機関のサミットを開催します。
- ・ 各地域で開催される産業展示会等では、三遠南信地域内の企業が積極的に参加できるようなPR活動を進めます。
- ・ 県境を越えてビジネスプラン等を持つ企業の発表機会をより多く設けていきます。

【推進主体とその活動】

- ・ 浜松市、豊橋市、飯田市の各商工会議所が中心となり、三遠南信地域経済開発協議会や地域金融機関等の協力・支援を得ながら推進します。

② 国内外に向けた人材・企業誘致の活動促進

「三遠南信」が知名度を高め、国内外へ向けた地域プロモーションを進めるため、三遠南信地域が一体化した人材・企業投資等の誘導戦略をつくり、人材・企業誘致活動を推進します。

【活動イメージ】

- ・ 国内外の将来性豊かな企業を対象とした誘致活動を推進します。
- ・ 海外、国内他地域への情報発信力を強化するため、特徴ある産業集積、クラスター事業や、工業団地、企業立地優遇措置等について、複数言語によるポータルサイトの整備や、相談窓口の充実化を図ります。
- ・ 企業誘致パンフレットの共同制作の検討等、企業誘致活動における連携活動を充実します。

【推進主体とその活動】

- ・ 自治体、商工会議所、商工会等が中心となって、活動を促進します。

③ 特徴ある産業クラスター拠点づくり県境を越えた事業連携

世界的な「ものづくり」地域として継続的な発展を続けるには、新規産業の育成が不可欠となっています。そのために特徴ある産業クラスターを形成するための拠点づくりと、県境を越えた事業連携を促進します。

【活動イメージ】

- ・ 特徴ある産業クラスターとして、オプトロニクス（光電子工学）クラスター、航空宇宙産業クラスター、食農産業クラスター、農工連携、医工連携等の広域拠点づくりを進めます。
- ・ 自動車、鉄道などの輸送用機器や工作機械、ロボット等の産業を重点に、三遠南信全域を対象とした産業クラスターづくりを推進します。
- ・ 各産業クラスターの強化を図るため、三遠南信地域や他地域からの企業参加等を積極的に誘導するためのポータルサイトの整備や、窓口・仲介機能を充実します。

【推進主体とその活動】

- ・ 三遠南信パイタライゼーション協議会が中心となり、はままつ産業創造センター、(株)サイエンス・クリエイト、(財)飯伊地域地場産業振興センター等と連携しながら推進します。

④ 三遠南信地域大学フォーラムの設置

三遠南信地域における人材の育成・定着、技術開発力の強化、文化や芸術の振興などに向けて、地域の総合的な学術研究機能や高等教育機能を高めるために、三遠南信地域の大学・研究機関等の連携を促進する三遠南信地域大学フォーラムを設置します。

【活動イメージ】

- ・ 大学間の意思疎通を高め、地域との連携を促進するために、三遠南信地域内の大学学長による意見交換の場を設けます。
- ・ 単位互換等を促進することで、三遠南信地域の大学が連携した総合大学としての魅力を創出します。また、地域集積が高い農林業分野等について、新規大学の誘致を検討します。
- ・ 大学の総合力を高めるために、各専門の枠を越えた研究者間の交流機会の創設、共同研究を促進します。
- ・ 人材の地域定着を促進するために、県境を越えるインターンシップ事業を促進します。
- ・ 地域との交流として、地域学の創設やコミュニティカレッジとしての役割を検討します。
- ・ 三遠南信地域の戦略的な分野に関して、国際学会誘致など全国の大学や国外の大学との連携を支援します。

【推進主体とその活動】

- ・ 大学、自治体等が中心となって、運営組織を立ち上げ、活動を推進します。



分科会

資 料

いなり寿司で豊川市を盛りあげ隊 の活動とB-1グランプリについて

いなり寿司で豊川市を盛りあげ隊
笠原盛泰

いなり寿司で豊川市を盛りあげ隊 沿革

平成16年～18年 商工会議所が、豊川地域ブランド「いなり寿司」
確立に向け様々な模索。鮭商組合「豊川名物いなり寿司」販売

平成19年9月 山脇新市長 就任

選挙マニフェストで「いなり寿司ブランドを全国展開」を掲げる。

平成20年9月24日（水） 豊川市ブランド研究会 設置

県内の観光協会では初の女性事務局長が公募で誕生。

平成21年3月30日（月）

第1回豊川いなり寿司ブランド化推進委員会開催 笠原盛泰委員長選出。

平成21年7月1日（水）

「いなり寿司で豊川市を盛りあげ隊」設立総会

「豊川いなり寿司宣言」と「設立趣意書」を発表

平成21年11月21日（土）22日（日）

「第一回 豊川いなり寿司フェスタ」開催

優勝：松屋支店、2日間で約6,000人が来場。

平成21年12月16日（水）17日（木）

「豊川いなり寿司マイスター認定講習会」を開催。

22社25人が合格し、マイスターとして認定。



平成22年1月22日(金)

愛Bリーグ中日本支部へ正会員への昇格申請書提出→半年後 役員会にて承認

平成22年9月18日(土) 19日(日)

第5回 B級ご当地グルメの祭典 B-1グランプリin 厚木
初出展 第6位入賞

平成23年3月20日(日)

いなりんの歌コンテスト 優秀作品 発表

平成23年7月30日(土) 31日(日)

東日本大震災被災地 支援活動 バス1台18名による炊き出しと福興市イベント応援

平成23年9月24日(土) 25日(日)

B級ご当地グルメの祭典 2011中日本・東海B-1グランプリin 豊川 (支部B1) 開催

平成23年11月12日(土) 13日(日)

第6回 B級ご当地グルメの祭典 B-1グランプリin 姫路 出展

平成24年1月16日

平成25年度 第8回 B-1グランプリの豊川開催が決定。記者発表

平成24年3月20日(祝)

第三回 豊川いなり寿司フェスタ

「赤いなり」がグランプリ 来場者 3万5千人



いなり寿司で豊川市をもちあげ隊の活動フロー



B-1グランプリとは <基本概要>

- グルメイベントでなく、まちおこしイベント。
- 主催するのは「愛Bリーグ」（社団法人B級ご当地グルメでまちおこし団体連絡協議会）参加できるのは「愛Bリーグ」の正会員。
- 正会員に加盟できるのは、「日常的にまちおこし活動を行っている志ある団体」※飲食店での加盟は不可。



B級ご当地グルメの祭典!
B-1グランプリ

一般消費者からみたB-1グランプリ

B級ご当地グルメの日本一を決める一大エンターテイメント

主催者にとってのB-1グランプリ

出展者がすべて主催者である巨大な村祭り
まちおこし活動の年に一度のお披露目の場

B-1 グランプリの来場者数と出展団体の推移



B-1 グランプリの誤解しそうな特徴

- ①B-1グランプリは、飲食店の出店でなく、まちおこし団体の出展。
- ②B-1グランプリは、愛Bリーグ正会員にならなくては参加出来ない。
- ③B-1グランプリは、グルメイベントでは無く、ご当地PRのイベント。
- ④B-1グランプリは、当日集客でなく、後日の各地集客が目的で広報。
- ⑤B-1グランプリは、パフォーマンスやイベント盛りだくさん。
- ⑥B-1グランプリは、中心市街地で分散開催し、まちに人が溢れる。
- ⑦B-1グランプリは、前夜祭が出展団体の大交流会。
- ⑧B-1グランプリは、順位は決めるが、それ以上の出展効果が目標。
- ⑨B-1グランプリは、業者に一括委託をせず実行委員会で運営。
- ⑩B-1グランプリは、全出展者が主催者であるイベント。

グルメ大会で無く、まちおこし団体の発表会であり、交流の場であり、競い合う場となることで、テーマパークのようなおもしろさや凄い活気と集客のあるイベントが実現。結果的に、開催地だけでなく、出展者地元への継続集客に大きく貢献するツール。…これまでにはなかった、コストパフォーマンスが高い、画期的な地域活性の取組。

食のまちおこし活動の形態 ＜愛Bリーグに加盟団体の実際＞

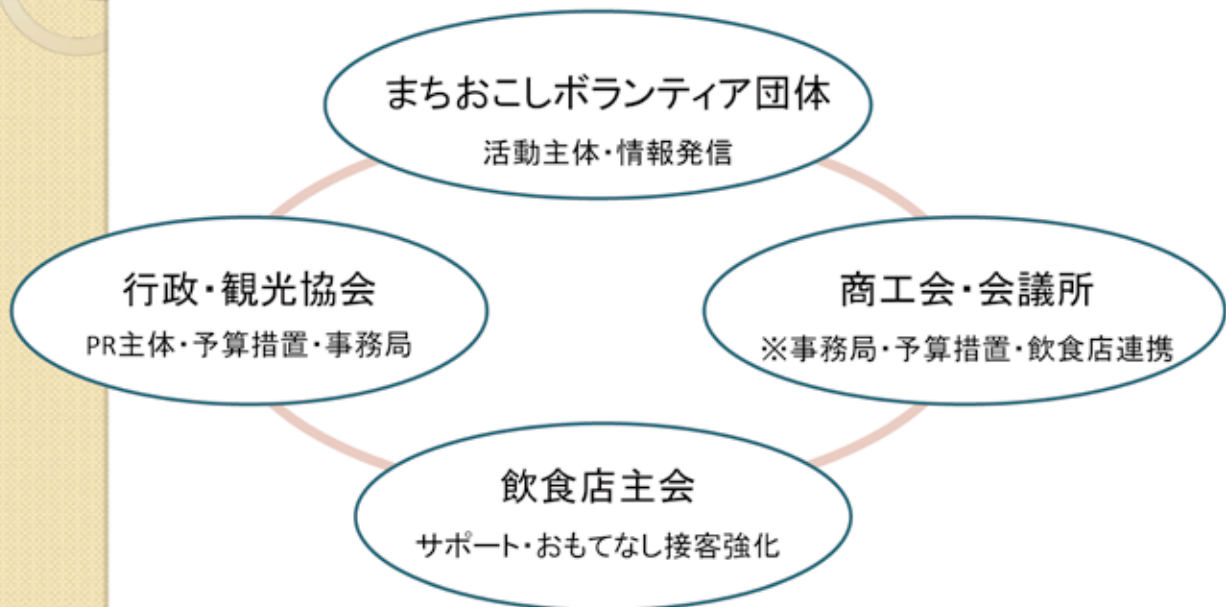
- 愛Bリーグに入会の難しい形態
飲食店組合の組織
商工会議所が事務局、代表が飲食店の組織
市役所・観光協会が事務局、代表が飲食店組織
市役所・商工会などによる協議会組織
- 愛Bリーグに参加可能でうまくいく形態
異業種の住民が集うまちおこし団体、行政や会議所はサポート、代表は飲食事業者で無く、事業者は認定店など

※現在の正会員

八戸せんべい汁研究所 十和田バラ焼きゼミナール 浪江焼麺太国
甲府鳥もつ煮でみなさまの縁をとりもつ隊 富士宮やきそば学会
四日市とんてき協会 亀山みそ焼きうどん本舗
津山ホルモンうどん研究所 ひるぜん焼きそば好いとん会 等

理想とする食のまちおこし活動の組織形態

※地域市民が応援したい、マスコミが報道として取り扱えるバランスの重要性



愛Bリーグのまちおこしストーリー

- ◆ 結成当初10団体が5年で約75団体と急成長
- ◆ B-1グランプリに出展するには、正会員となる必要
- ◆ 正会員となるには、日常的まちおこしの実態、団体の精神、構成メンバーとボランティア性を問われる・・・ハードル設定
- ◆ 入会后、B-1グランプリの注目度で有名に・・・さらに今後の活動を注目される。（しかし、活動によっては降格など有り）
- ◆ ブランド管理、商標登録によるタイアップ商品で資金を確保



私の考える、まちおこしのポイントとは

- 市民主体、市民企画の運動が先にありき。
- 行政や各機関の協力が得られる。
- ボランティア活動でありながら、自主財源の確保。
- 楽しみや話題性がある、モチベーションが上がる。
- 地場企業の参加、協力が得やすい事業。
- 誰もが関わりやすいわかりやすいコンセプト。
- 効果や影響が実感でき、人が成長できること。

以上のポイントをB-Iグランプリ・愛Bリーグは持っている。

観光活性化の狙いと効果

~~観光活性化＝観光事業者の活性化~~

1. 来訪者に対する意識芽生える→街並みやまちを美しくという景観意識が向上。
2. 居住人口は減少も、交流人口によるマーケット拡大。
3. 地元消費の復活、地場中小事業者の活性化。
4. 地域イメージへの関心、地域アイデンティティの醸成、郷土愛の向上に結び付く。
5. 住民の地域づくり意識の向上、まちづくりの担い手の増加

＝地域力の向上に結び付く

おわりに

- 地域の力の**格差**ができる
- 地域の力の差とは、
行政力と×**市民力**×**地域企業力**
- 企業経営としても、**地域社会の利益を優先**した考え方で進めることが、**企業の価値と利益**を生み出す時代に
- 市民や地域中小企業の力や影響力が増大
- **経済人として、市民として、ライフワーク**としてのまちおこしや地域づくりを推進したい

政策の基本方針 3：塩の道エコミュージアムの形成

①「塩の道」風景街道の体制づくり

三遠南信地域は、歴史的に形成された南北の「塩の道」に沿って形作られており、自然・歴史・文化・産物など地域特有の資源を守り、掘り起こし、磨きあげ、往来の物語を構築します。このために、「塩の道」風景街道の体制づくりを進めます。

【活動イメージ】

- ・ 国土交通省の「日本風景街道」に登録し、具体的な連携活動に取り組みます。
- ・ 三遠南信「塩の道」風景街道の風景価値を高めるための地域連携・発信活動に取り組みます。
- ・ 三遠南信「塩の道」風景街道の地域資源を掘り起こし、磨き、活かす活動に取り組みます。
- ・ 三遠南信「塩の道」風景街道の自然、歴史、伝統文化、暮らしを学び、伝える活動に取り組みます。

【推進主体とその活動】

- ・ 三遠南信地域内の市民団体等を中心に、事業内容を検討します。

② 地域資源を活かす鉄道の有効利用

塩の道エコミュージアムの形成を支援する鉄道の観光活用を進めます。

【活動イメージ】

- ・ 鉄道事業者と連携を取りながら、地域内を結ぶ鉄道と観光資源のネットワーク化を検討します。
- ・ JR東海道線の増便などの鉄道の利便性を向上させます。
- ・ JR飯田線、天竜浜名湖線の観光利用を地域運動として促進することを検討します。
- ・ 豊橋市の路面電車、佐久間レールパーク等鉄道資源を利用したイベントの開催を検討します。

【推進主体とその活動】

- ・ 鉄道事業者、自治体、商工会議所・商工会等が中心となって、事業内容を検討します。

③ 海外への観光情報発信と外国人観光客誘致の促進

三遠南信地域の観光資源は、山から海までの自然資源、歴史、産業観光など多様であり、交通の利便性も高いことから、一地域での周遊性を期待する訪日外国人観光に適しています。このため、海外への観光情報発信と外国人観光客誘致を促進します。

【活動イメージ】

- ・ 海外で開催される国際旅行博覧会等に参加し、三遠南信地域の観光PRをするため、外国語広域観光マップ等を活用して観光情報発信を進めます。
- ・ 複数の外国語で閲覧できる三遠南信観光ポータルサイト（インターネットホームページ）を作成します。
- ・ 地域の観光関連事業者と連携して、外国人観光客を対象とした三遠南信地域を巡る観光モデルツアーの商品化を検討します。
- ・ 海外へ三遠南信観光プロモーション団を派遣します。
- ・ 富士山静岡空港、中部国際空港への国際定期便の増便、路線増設、国際チャーター便の運行を航空会社、空港会社、国・県、旅行会社等へ働きかけます。

【推進主体とその活動】

- ・ 自治体、観光関連事業者、三遠南信・伊勢志摩広域観光交流連携協議会等が連携して、事業を促進します。

④ 三遠南信アンテナショップの開設

三遠南信地域の地域固有の商品・サービスを広く圏域内外にアピールし、新たな販路を広げるため、特産品販売の場づくりとして、三遠南信アンテナショップを開設します。

【活動イメージ】

- ・ 浜松市、豊橋市、飯田市等の拠点都市の中心市街地等へ、三遠南信地域の特産品の展示・販売、観光情報、地域情報の発信等を行うアンテナショップ（仮称：三遠南信ふれあいショップ）の開設を検討します。
- ・ 大都市部（東京、名古屋、大阪等）での三遠南信アンテナショップの開設を検討します。

【推進主体とその活動】

- ・ 自治体、商工会議所・商工会、観光協会、農林水産団体等が中心となって、事業内容を検討します。

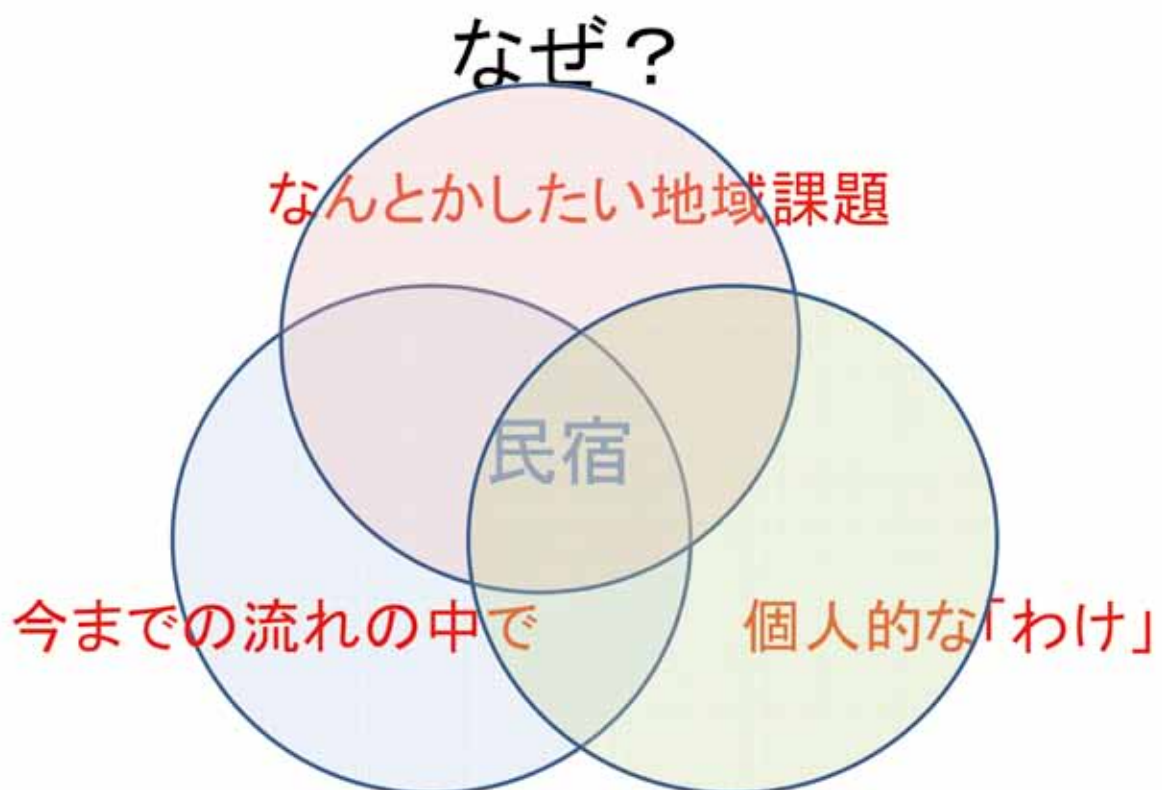


資 料

農家民宿くんま遊楽亭 あそびやの開業

新たな発想で地域課題に挑む

大平展子



こんな「おやど」に

民宿の理念

- あるがままで 無理は無理
- 我が家ふうで
- キーワード は 安らぎ・癒やし・絆
- 日本のふるさと 忘れられた「和」 倭？を
- 「また来たい」を目指して
- 安心・安全は大前提

施設・設備は



ログ風の風呂を手作り



和風の庭を見ながら



畳と障子



交通アクセス

車で 鹿島橋から 県道9号(天竜一東栄線)
約20キロ

新東名 浜松浜北ICから25キロ

公共交通機関

電車 遠鉄西鹿島線

浜松 = 西鹿島 32分

バス 西鹿島 = 水車の里 47分

水車の里まで送迎サービス



デッキで
採ってきた山菜を
天ぷらに

利用者の声

- ・ 実家に帰ってきたような何とも言えない安らぎ
- ・ ゆったりとした時間を使うって贅沢だ
- ・ 日本のおもてなしに出会えた
- ・ 菖蒲湯、スーパームーン、筍の味噌汁
- ・ ウグイスの鳴き声で目覚めた
- ・ これが本来のヒトの生活なのでは・・・
- ・ 夕食後の会話が楽しく、夜遅くまで話し込んで

夢は明日へのエネルギー

- ピザ釜を造りお客さんに焼いてもらおうよ
- 炭焼き体験を長期滞在で
- ワーキングホリデーで学生さんを
- ツリーハウスもおもしろそう
- 仲間が増えて、「くんま民宿村」に
など など



初めて採った椎茸

ほらほらあそこに



この笑顔が
嬉しくて



またくるね

せめて野菜は自前で
「我が家で採れた。」がごちそう



重点プロジェクト

政策の基本方針 4：中山間地域を活かす流域モデルの形成

①「健全な水・物質循環」の構築に向けた共同プロジェクトの推進

地域環境の持続性を確保するために、流域圏の「健全な水・物質循環」の視点から、水資源確保、水質改善、物質循環のメカニズム解明を進めながら、複数のプロジェクトを共同化することで関係機関の相互調整を促進します。

【活動イメージ】

- ・ 「健全な水循環」に係る産・学・官・民による情報共有・情報交換ができる場づくりを進めます。
- ・ 産・学・官・民が参加し、県境を越えた「健全な水・物質循環」の構築に向けた共同プロジェクトを推進します（遠州灘海岸の侵食防止、天竜川ダム再編事業、設楽ダム建設事業、浜名湖・三河湾の水質浄化活動、住民参加型の水質浄化に関する行動計画づくり等）。

【推進主体とその活動】

- ・ 国、県の協力の下に、市町村が中心となって活動促進を働きかけます。

② 上流域と下流域の自治体が連携した流域定住の推進体制の整備

下流域都市住民の中山間地域への居住に対する関心を喚起することで、上流域への人口流入を図るとともに、流域圏の多様性を活用することによって三遠南信地域の定住の魅力を増大させます。このために、上流域と下流域の自治体が連携して流域定住の検討体制を構築します。

【活動イメージ】

- ・ 受け入れ地区住民の意識調査等を行い、空き家、貸し家、遊休施設等の施設利用情報のデータベース化に取り組みます。
- ・ 流域定住や二地域居住を進めるための総合的な相談窓口の設置、居住体験が行える施設の整備、生活に関連した情報を円滑に提供できる仕組みづくりを進めます。
- ・ 長期滞在者向けの旅館利用や滞在施設（廃校、旧役場、空き家等）の整備を検討します。
- ・ 空き家、貸し家、遊休施設等の仲介を不動産会社等の民間企業に働きかけます。
- ・ 耕作放棄地や遊休施設に関心を持つ企業への施設・用地紹介や情報提供に取り組みます。
- ・ 遊休施設を社員保養施設として利用したい企業への支援を検討します。

【推進主体とその活動】

- ・ 上下流域自治体による検討体制を設けます。



政策の基本方針 5：広域連携による安全・安心な地域の形成

① 医療分野の県境を越える連携の促進

住民生活の安心を確保するために、最も基本となる地域医療体制を、県境を越えて整備します。

【活動イメージ】

- ・ 公立病院を中心とした医療施設の広域利用を進めます。
- ・ 医科大学と三遠南信地域自治体との連携を促進します。
- ・ 県境近接地域で、休日診療、夜間診療の連携が取れていないため、隣接県の医療施設の情報発信、医療施設利用の連携を進めます。
- ・ ドクターヘリの県境を越えた活動を支えるため、中山間地域での中継基地（燃料補給等）設置を検討します。
- ・ 情報通信技術を活用した遠隔地医療診断を検討します。

【推進主体とその活動】

- ・ 自治体を中心となって、具体的な検討、関係機関への働きかけを進めます。

② 三遠南信地域内住民に対する公共施設の広域利用推進

三遠南信地域住民に対する行政サービスの向上と施設の有効活用を図るために、公共施設情報の連携や公共施設の広域的な利用を促進します。

【活動イメージ】

- ・ 公共施設の県境を越えた利用を促進するポータルサイトの構築を検討します。
- ・ 公共施設の三遠南信地域内住民に対する利用制限を撤廃するとともに、自地域住民並の利用料金の設定を検討します。

【推進主体とその活動】

- ・ 自治体を中心となって、事業を推進します。

③ 県境を越える防災体制の強化

東海地震等の大規模災害が想定されることから、地域住民の生命、身体、財産等を災害から守るために、防災に関する関係機関の相互協力を、県境を越えて取り組みます。

【活動イメージ】

- ・ 地域の防災力の向上のため、自主防災組織の充実・連携に取り組みます。
- ・ 「三遠南信災害時相互応援協定」において、災害廃棄物の相互処理など、必要な項目の追加を検討します。
- ・ 広域防災拠点の相互連携を強化するため、港湾機能、道路機能（防災道路、緊急輸送路等）の充実を図ります。

【推進主体とその活動】

- ・ 自治体を中心となって、自主防災組織や自治会等と協力して事業内容を検討します

三遠南信地域連携ビジョン 概要版

三遠南信地域連携ビジョン概要版

—世界につながる日本の中央回廊— 三遠南信 **250** 万流域都市圏の創造

三遠南信地域は、愛知県東三河地域、静岡県遠州地域、長野県南信州地域からなる3県の県境地域です。人口230万人、豊かな経済資源や多様な自然環境、特色ある歴史・文化は、都道府県にも匹敵する大きなポテンシャルを有しています。近年、市町村合併や広域交通ネットワークの整備による地域構造の変化、また、道州制や国土形成計画など国の地域づくり制度の検討が進められる中、地域住民をはじめ、大学、経済界、行政など圏域の発展を願う様々な関係者が力を合わせ、「三遠南信地域連携ビジョン」を策定しました。

「三遠南信 250 万流域都市圏の創造—世界につながる日本の中央回廊—」をテーマとし、三遠南信に対する思いと活動のベクトルを一致させることにより、相乗効果を発揮し、地域の振興発展を加速させていくことを期待しています。圏域の皆様には、「三遠南信地域連携ビジョン」にご理解をいただきますとともに、ビジョン推進に積極的なご参加をお願い申し上げます。

■ 三遠南信地域連携ビジョンを策定するに当たって以下の5つの目的があります。

- 道州制や国土形成計画など県境を越える地域づくり制度へのアピール
- 経済活動のグローバル化に対応した県境を越える産業競争力の強化
- 市町村合併による地域構造の変化に対応した広域行政の推進
- 地域連携活動の相乗効果の発揮
- 県境を越えた社会基盤を活かした地域づくり

■ 目標期間

三遠南信地域連携ビジョンの目標期間は、概ね10年間とし、三遠南信地域の目指すべき将来像と連携事業の方針を定めます。

■ 策定体制

○三遠南信サミット

三遠南信地域の市町村長や議会、経済団体の代表、地域住民、国、県の関係機関などが一堂に集まり、平成5年度から毎年1回、地域の一体的な振興発展のために議論しています。この場で三遠南信地域連携ビジョンを審議し、決定しました。

○三遠南信地域連携ビジョン検討委員会

三遠南信サミットから委嘱を受けた地域住民や大学、経済界、行政の代表で組織し、オブザーバーである国、県の意見を反映しながら、検討案を策定し、三遠南信サミットへ提案しました。

○幹事会

三遠南信地域の行政、経済界、国、県の実務者レベルで組織し、検討委員会の審議に向け、関係間で調整しました。

■ ポテンシャルから導き出される 5 つの課題

三遠南信地域のポテンシャルから、地域連携ビジョンを策定する上での課題として、次の5点を挙げます。

- 中部圏における「**自立した世界的都市圏**」としての機能強化
- グローバル化や産業構造に変化に対応した「**国際的な産業競争力**」の強化
- 自然や歴史に育まれた地域文化を活かした「**地域アイデンティティ**」の確立
- 天竜川・豊川流域圏において自然資源、人的資源、産業資源など補完と連携による「**流域循環圏**」の構築
- 道州制を見据えた「**県境を越える広域的な地域連携政策機能**」の構築

■ 三遠南信地域連携ビジョンのテーマ

三遠南信 **250万流域都市圏**の創造 **—世界につながる日本の中央回廊—**



■ 目指すべき地域像

① 日本の中央回廊の形成

太平洋側と日本海側の両地域を東西日本の中心で結びます。



② 大伊勢湾環状地域を構成する中核的都市圏の形成

伊勢湾を中心に産業や文化等の多様なネットワークを構築します。



③ 流域循環圏の形成

上下流域が環境や経済をはじめ、広範な分野で有機的にネットワークする「流域循環圏」を構築します。



■ ゾーニング

三遠南信地域を東名高速道路、第二東名高速道路などを境界として、3つのエリアにゾーニングし、整備方針を掲げます。

①既存集積ゾーン

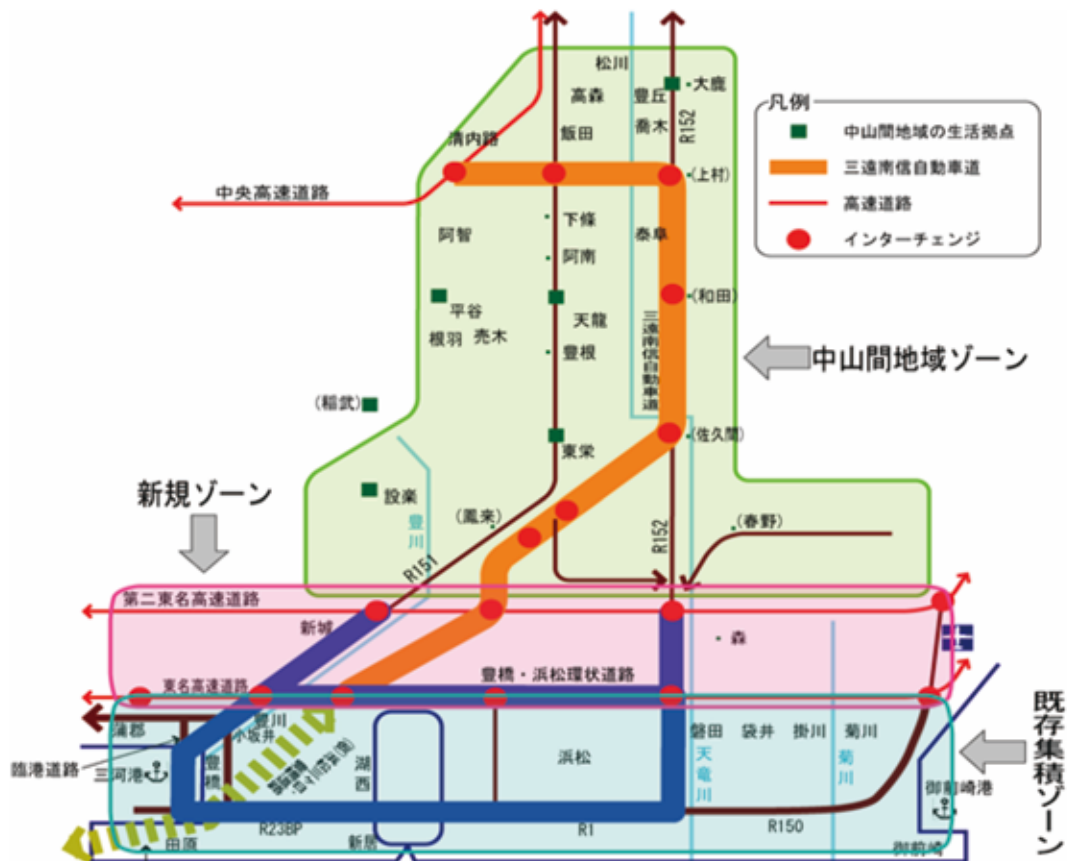
三遠南信地域南部の JR 東海道線、東名高速道路に沿った地域は、特色をもった都市が連続しており、高度な都市機能が集積しています。広域幹線道路として、東名高速道路や国道1号の東西幹線が地域を貫き、圏域の東西には三河港や御前崎港の国際港湾を擁しています。政令指定都市・浜松と中核市・豊橋とを広域交通網や情報網でより緊密に結びつけ、圏域の核として一体的な経済・文化圏を形成することにより、圏域全体の発展を牽引します。

②新規ゾーン

東名高速道路と第二東名高速道路に挟まれた地域で、住居系の郊外市街地と都市近郊農業地帯が混在する地域です。今後は、第二東名高速道路の開通に伴い、インターチェンジ周辺等への新たな産業集積が期待されます。浜名湖や地域の森林などの自然環境との調和を保ちつつ、バランスのとれた土地利用が必要です。

③中山間地域ゾーン

圏域北部の中山間地域は、過疎化・高齢化が進んでいる地域です。優れた自然環境の保全を基調とし、ライフスタイルの多様化に対応した交流人口の拡大を進めます。三遠南信自動車道の整備により、特色ある地域資源を活かすとともに、新規ゾーンや既存集積ゾーンとの活発な交流による地域振興が必要です。



■ 三遠南信地域連携ビジョンの5つの基本方針と重点プロジェクト

三遠南信地域の目指すべき地域像を踏まえたテーマを達成していくため、5つの政策の基本方針を設けて積極的に推進します。

○連携事業の政策体系

テーマ	政策の基本方針	推進方針	主要施策
三遠南信二五〇万流域都市圏の創造 「世界につながる日本の中央回廊」	中部圏の中核となる地域基盤の形成	人とももの流動促進	三遠南信地域のゲートウェイの基盤整備 高原新定住圏の基盤整備 県境を越える三遠都市帯の基盤整備
		情報の流動促進	中山間地域の情報基盤整備 県境を越える情報共有化の推進
	持続発展的な産業集積の形成	既存産業の活力増進	人材・労働力の確保・育成 広域的な産業連携活動の推進 未利用資源の広域的な連携による有効活用の推進
		新規産業の創造と特徴ある産業クラスターの形成	特徴ある産業クラスターの形成 コミュニティ・ビジネスの育成 県境を越える大学・研究機関連携組織の形成
	塩の道エコミュージアムの形成	塩の道エコミュージアムによる文化の発信	歴史・文化資源の保全と風土記ネットワークづくり ものづくり文化の啓発と産業観光ネットワークづくり 多様な自然資源の保全とやすらぎのネットワークづくり
		エコミュージアムのプラットフォームづくり	エコミュージアムのプラットフォームづくり エコミュージアムの担い手づくり 三遠南信地域ファンづくり
	中山間地域を活かす流域モデルの形成	自然資源の循環モデルの形成	健全な水・物質循環を目指した環境保全活動の推進 森林資源の有効活用 新エネルギー導入の推進
		流域定住推進モデルの形成	流域定住推進体制の整備 中山間地域での居住環境の確保
	広域連携による安全・安心な地域の形成	生活環境の維持と質的向上	医療・福祉の連携 教育の連携 公共施設利用の柔軟性確保
		多文化共生の基盤づくり	多文化共生の基盤づくり
		広域的な防災体制の充実化	広域的な防災体制の充実化

○重点プロジェクト

1 中部圏の中核となる地域基盤の形成

- ① 三遠南信自動車道の整備促進と三遠伊勢連絡道路（伊勢湾口道路）構想の実現
- ② 三河港、御前崎港、中部国際空港、富士山静岡空港の整備と高速道路へのアクセス路の整備促進による国際ゲートウェイ機能の充実
- ③ リニア中央新幹線の早期実現と飯田駅設置
- ④ 豊橋・浜松環状道路を形成するネットワークの整備促進
- ⑤ 県境を越えるマスコミの連携

2 持続発展的な産業集積の形成

- ① 三遠南信ビジネスマッチングの促進
- ② 国内外に向けた人材・企業誘致の活動促進
- ③ 特徴ある産業クラスター拠点づくりと県境を越えた事業連携
- ④ 三遠南信地域大学フォーラムの設置

3 塩の道エコミュージアムの形成

- ① 「塩の道」風景街道の体制づくり
- ② 地域資源を活かす鉄道の有効活用
- ③ 海外への観光情報発信と外国人観光客誘致の促進
- ④ 三遠南信アンテナショップの開設

4 中山間地域を活かす流域モデルの形成

- ① 「健全な水・物質循環」の構築に向けた共同プロジェクトの推進
- ② 上流域と下流域の自治体が連携した流域定住の推進体制の整備

5 広域連携による安全・安心な地域の形成

- ① 医療分野の県境を越える連携の促進
- ② 三遠南信地域内住民に対する公共施設の広域利用推進
- ③ 県境を越える防災体制の強化

■ 推進体制

○三遠南信地域連携ビジョン推進会議(SENA セナ)の設置

- ・ 平成20年度に「三遠南信地域連携ビジョン推進会議」を設置します
- ・ 地域住民、大学、経済界、行政の代表者により組織します

○三遠南信地域連携ビジョン推進会議(SENA セナ)の役割

- ・ 重点プロジェクトを推進します
- ・ 重点プロジェクトの評価・見直しを行います
- ・ 道州制等の国の動きに対する働きかけを行います
- ・ NPO法人や企業等が取り組む連携活動に対する支援を行います

○新連携組織への移行

- ・ 平成24年に、三遠南信地域連携ビジョンに基づいた連携事業を行うため、恒常的な新・連携組織を設置します



